

Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2026

第31号



Kansai University
Library Forum

関西大学

図書館フォーラム

2026

第31号

新入生に贈る100冊



EUフレンドシップウィーク展示





仕事×人生×SDGs関連展示

2025年度 秋学期企画展

仕事×人生×SDGs

充実した働き方・人生について考えよう！

- 第1期：9月24日（水）～11月30日（日）
 - ・ 多種多様な働き方
 - ・ 雇用関係
- 第2期：12月1日（月）～1月30日（金）
 - ・ ワークライフバランス
 - ・ 人間関係
- 展示場所：総合図書館2階
開架カウンター前企画展コーナー

8 働きがいも 経済成長も

総合図書館

*この展示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

SNS関連展示



#SNSとのつきあい方

SNSを上手に活用する方法を見つけませんか。

- 第1期：4月1日（火）～5月31日（土）
画面の向こうの人たちとのコミュニケーションの取り方や、情報発信の際に気を付けるべきことをとりあげます。
- 第2期：6月1日（日）～7月31日（木）
多くの人に見てもらおう工夫や、フェイクニュース・デマに騙されないための情報選択についてとりあげます。

展示場所：総合図書館2階 展示コーナー
【主催・問い合わせ】図書館事務室サービス担当
MAIL: ku-library@ml.kandai.jp

*この展示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

高槻キャンパス図書館 企画展

高槻キャンパス図書館 企画展
展示期間：2025年4月～6月

2次元に沼る

アニメ・マンガを深読みしてみませんか？
深読みする面白さをヒット作品の制作の裏側や
アニメーション制作の基本などが書かれた資料で
紹介します。
「沼」にハマって感覚を楽しんでください。

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

高槻キャンパス図書館 企画展
展示期間：2025年7月～9月

読む数学

～数の世界～

数学ってむずかしい？
「数」をテーマにした本を 取り揃えました。
数学は 日常生活の中に あふれている!!
数学的思考力を 深めてみませんか？

パズルあり、イラストあり、小説あり、
タイトルからは読み取れない数学知識の応用あり。
数学の奥深さを味わい、楽しく「数学」に触れてみましょう。

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

高槻キャンパス 図書館 企画展
展示期間 2025年10月～12月

『コンテンツを読み解く』

本展示では、映画やアニメ、漫画といったコンテンツの
分析を通して社会について論じた資料を揃えました。

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。
高槻キャンパス図書館

Artificial Intelligence

AIの光と影

AI=人工知能はもはや私たちの社会になくはない存在
になりました。対する人間の知能や認知の研究もまだまだ道半ば。
進化を経た知能と模倣された知能。二つの「知能」の可能性と関
係を探る資料を展示します。

高槻キャンパス図書館企画展
展示期間 2025年1月～3月

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。 高槻キャンパス図書館

ミューズ大学図書館 企画展

ミューズ大学図書館 企画展示

レポート、論文作成 図書館活用のススメ。

説得力のある論文を作成するには？
具体的なレポート、論文の書き方や、
文章力・表現力向上のための資料、引用ガイドなど、
レポート・論文の書き方、発表の参考となる資料を
紹介します。

展示期間 2025年4月～6月

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

ミューズ大学図書館 企画展
展示期間 2025年7月～9月

新聞書評掲載本2024

2024年の新聞書評に掲載された本から、一部をピックアップしました。
書評も展示していますので、夏休みのお供にゆっくり選んでみてください。

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

ミューズ大学図書館 企画展
展示期間 2025年10月-12月

WITH

JR福知山線脱線事故から20年
阪神淡路大震災から30年
日本航空123便墜落事故から40年
今年節目を迎える事故・災害に改めて目を向け
一緒に未来への備えを考えるきっかけにしませんか？

ミューズ大学図書館

企画展

昭和100年

2025年は昭和元年からちょうど100年
激動の時代「昭和」を振り返り、その歴史や文化、
日々の暮らしに関する資料を集めました。
時代の移り変わりを感ぜながら、
「昭和」の魅力にふれてみませんか。

展示期間：2026年1月～3月

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

ミューズ大学図書館



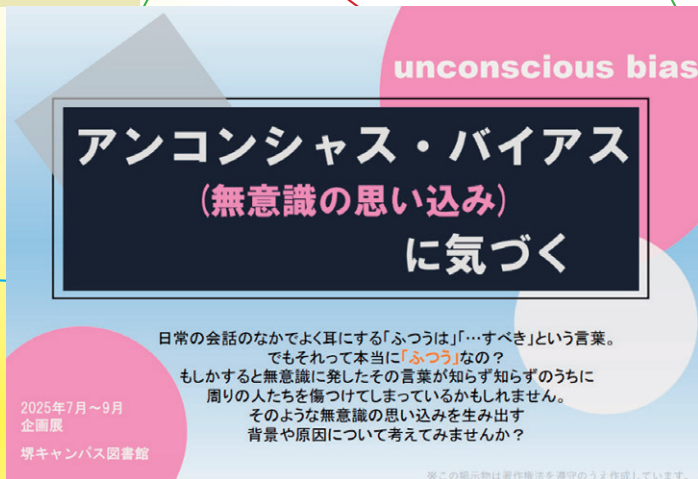
健康的な
「身体づくり」
はじめませんか

冬は寒さの影響により体が強張る、外出の機会が減り運動不足になるなど、怪我をしたり体調不良になったりするリスクが増大します。

そこで、寒さやケガに負けない健康な「カラダ」をつくる参考になるような本を集めました。

2026年1月-3月
企画展
堺キャンパス図書館

この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。



unconscious bias

アンコンシャス・バイアス
(無意識の思い込み)
に気づく

日常の会話のなかでよく耳にする「ふつうは」「…すべき」という言葉。でもそれって本当に「ふつう」なの？もしかすると無意識に発したその言葉が知らず知らずのうちに周りの人たちを傷つけてしまっているかもしれません。そのような無意識の思い込みを生み出す背景や原因について考えてみませんか？

2025年7月-9月
企画展
堺キャンパス図書館

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

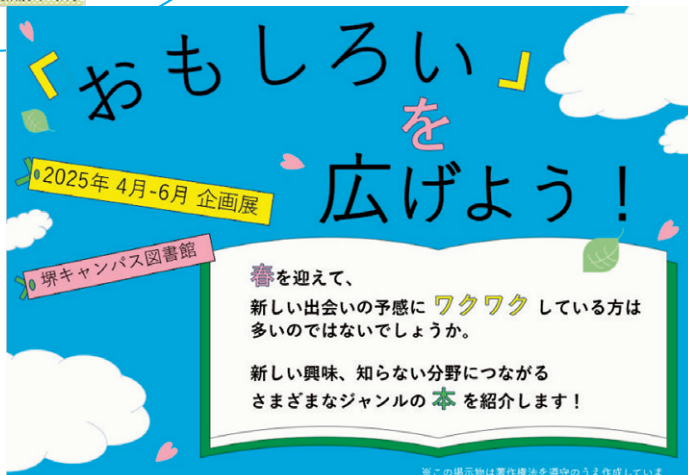


企画展
2025年10月-12月

知っておきたい
心とからだ

私たちが生きていくうえで直面する病気や死について考えてみませんか。『心とからだ』をテーマに様々な角度から資料を集めました。この機会にぜひ触れてみてください。

堺キャンパス図書館
※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。



「おもしろい」
を
広げよう！

2025年 4月-6月 企画展

堺キャンパス図書館

春を迎えて、新しい出会いの予感にワクワクしている方は多いのではないでしょうか。

新しい興味、知らない分野につながるさまざまなジャンルの本を紹介します！

※この掲示物は著作権法を遵守のうえ作成しています。

図書館フォーラム Library Forum

第31号
2026 目次

口絵 図書館サ・エ・ラ (2025 図書館記録写真)

虫ぼし抄

ペリオの訪問記帳と宋徳玉の挽聯

—内藤文庫所蔵の湖南を偲ぶ資料について 陶 徳 民 1

〈図書館自己点検・評価について〉 図書館自己点検・評価委員会 9

図書館談話室

関西四大学図書館職員研修会報告 新 谷 大二郎 47

図書館活動報告

2025 年度図書館活動報告 50

電子ジャーナルパッケージ「ScienceDirect」の契約方式の変更について 藁 科 貴 敬 52

総合図書館書庫資料再配置について 新 谷 大二郎 54

図書館出版物案内 58

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項 59

編集後記

ペリオの訪問記帳と宋徳玉の挽聯

—内藤文庫所蔵の湖南を偲ぶ資料について

陶 徳 民

2022年3月31日をもって定年退職した私は、お蔭様で同日付にて拙編『内藤湖南の人脈と影響—関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る—』（以下拙編と略記）が関西大学東西学術研究所資料集刊50として刊行された〔図1〕。これは、在職26年間に上梓した同シリーズの6冊中の最後の1冊であり、先に出版された『内藤湖南と清人書画』（2009）『大正癸丑蘭亭会への懐古と継承』（2013）と同じように内藤文庫所蔵資料をふんだんに活用したものであった。ここに「お蔭様で」と書いたのは決してお世辞ではなく、編集過程で実に多くの方々のご教示とご支援を頂いたからである。

出版一か月前の2月18日に書いた「あとがき」において、編集時の実情と心境を次のように打ち明けている。

多くの先行研究の成果があったとはいえ、この編集作業に対する具体的助言は、昨年出した小著『もう一つの内藤湖南像—関西大学内藤文庫探索二十年—』に対するご序文を有難く頂戴した京都大学の両名誉教授、礪波護先生と高田時雄先生に頼るしかありません。例えば、礪波先生が『京大東洋史の百年』において、手堅い考証により湖南の京大教官就任を支援したのが主として木下広次、上田万年と狩野亨吉の三者であったという事実を明確にしました。それが、本書第一部「写真で見る内藤湖南の生涯事蹟」における「8 京大教官就任をバックした伯楽たちと初期の活躍」という頁のタイトルとなっています。そして、NHKの「英雄たちの選択」シリーズとして湖南を取り上げる（二〇二二年三月十六日夜八時に放送予定）BS番組製作のための現地取材に協力して、高田先生と一緒に湖南が晩年を過ごした恭仁山荘に行きましたが、先生の一言がそれまでの私の湖南像に大きな影響を与えました。「晩年の湖南はこの山荘のお庭で、一緒に散歩している末娘にここは将来、神社になるよ、とおっしゃったことがありました」と。湖南はそこまで自分の歴史的地位と没後の影響について自信を持っていたのかというのが当時の私の驚愕を伴う受け止め方でありました。

本来ならば、2013年関西大学主催の「大正癸丑蘭亭会百周年記念行事」以降親交を続けている書論研究会の杉村邦彦会長からも気楽にご助言を受けられるはずでしたが、昨春にご体調を崩されたため、面会も電話もできなくなりました。時には、編者の私は「暗中模索、戦々恐々」



図1 陶徳民編著『内藤湖南の人脈と影響』の表紙
関西大学出版部 HP より転載

の境地に落ちた場合もあります。幸いに、礪波・高田両名誉教授のほかに、秋田県鹿角市内藤湖南先生顕彰会、関西大学図書館と東西学術研究所、その他の関係機関の方々、および私の学生である石永峰・顔龍龍・邱吉・劉重越・張亜敬諸氏からも全面的協力を得ましたので、編集作業に不可欠な資料の特定や画像を掲載するための許可申請などの難関もいちいちクリアすることができました。また、特筆すべきは、還暦祝賀行事および葬祭関連資料の撮影費用は、外国語学部の玄幸子教授が代表を務める「内藤文庫および石濱文庫所蔵資料の調査と整理に関する共同研究」というプロジェクトの研究拠点形成支援経費に賄われていたことです。この場を借りて、上記するすべての方々に厚く御礼を申し上げたいと思います。

本稿では、拙編をめぐる調査研究の過程で得た二、三の経験教訓、すなわちペリオの1935年湖南一周忌法要参列に因む恭仁山莊来訪時の訪問記帳の発見と、満州帝国吉林省長春県長宋徳玉の挽聯中の上聯の掲載漏れを具体的に述べることにより、今後の湖南研究者の参考になればと考えている。なぜならば、あらゆる「編集」作業は、対象資料に関する取捨選択を伴う仕事であり、その意味において、本書は一研究者兼編集者の私というフィルターで濾過されたものを提供している容器に過ぎず、本来収録すべきだった資料が省かれたり、取入れている一部の資料が間違ったりすることもありうるからである。このような自己相対化は、研究者や編集者がつねに持つべき自覚と謙虚な姿勢であろうと思う。

(1) ペリオの恭仁山莊訪問時の記帳について

近年の湖南研究は、ある意味で鹿角市教育委員会が発行した『内藤湖南・十湾書簡集』(2016)と『内藤湖南・十湾書簡集 第二集』(2024)により促進された面もある。前者は内藤湖南(1866年8月27日-1934年6月26日)生誕150年記念に因んだもので湖南書簡162通、父十湾の書簡10通と鹿角に残る湖南の書簡32通を、後者は湖南没後90年記念に因んだもので湖南書簡73通と十湾書簡46通を読み下し

文で掲載しているため、青壮年期の湖南の肉声が生き生きと伝わっている¹⁾。その中において、私がとくに注目した一通は、1902年5月31日付の調一宛湖南書簡である。個人所蔵の和漢洋書籍4千冊余りを蓄積し大阪朝日新聞社の組織改正により編集局の政法課主任から同社の評議員に昇進し、清国再遊(1899年の初回遊歴を記した『燕山楚水：支那漫遊』(1900年)および1897年出版の『近世文学史論』が世間で大好評を博した)を控えていた37歳の湖南が、恩師や知人との重ねた相談で一つの重大な決断を行った。それはなんと、新聞人で一生を通すことを諦め、国際的の大学者になろうという新しい人生目標を設定した—「児の生涯は結局東洋歴史の大學教授としてかねて支那問題の研究者を以て一家を成すに足ることと信じ候に付、今後は史學研究の結果を歐羅巴の中央に發表し世界の學者の一人として傳へらるゝことを目的と致候(〈日本のみならず〉)亜細亜の學者としては已に少し成功したる者と自信致居候」と²⁾。少年時代の湖南に啓蒙的漢学教育を授けた父十湾は息子の志を知った際にきつと大喜びしていただろうと想像に難しくない。その後の湖南の歩んだ道を見れば、この人生目標が見事に実現され、予想以上の成功を収められた。その証拠は、正にペリオの1935年湖南一周忌法要参列と恭仁山莊の書齋訪問であったと言えるかもしれない。

では、ペリオ(Paul Pelliot 1878-1945)はどんな人物であったろうか。

1980年代後期大阪大学大学院在学中に親しく接してくださった東洋史の森安孝夫先生(1948-2024、ご専門はペリオのそれに近い中央ユーラシア史)が次のような的確で周到な評価をしたことがある。

フランスが生んだ世界最大の東洋学者。パリに生まれ、東洋語学校などを卒業。二歳でインドシナ古跡調査部(フランス極東学院の前身)に入る。中国留学後、一九〇一年からハノイのフランス極東学院教授。一一年に三三歳の若さでフランス学院(コレージュ・ド・フランス)の教授となり、二三年からは東洋学雑誌T'oung Pao(通報)の編集にも携わって学界をリードした。その学問の領域はフランス学院の教授ア

ベル・レミューザによって基礎づけられた近代的な学問としての支那学^{シノロジー}の伝統を継承、発展させつつも、それを超えた。すなわちトルキスタン化する以前の中央アジアの歴史学・言語学、アルタイ言語学を含むトルコ・モンゴル学、モンゴル帝国時代の東西交渉史学のうえに一大金字塔を打ち建て、さらにはチベット学、東南アジア学にまで及んだ。このような彼の学問形成に決定的役割を果たしたのは、一九〇六年から〇九年にかけてフランスの学界を代表する形で行われた中央アジア探検である。そのときの原地調査の経験と、西域北道および敦煌^{とんこう}から将来された多種多様の遺物と文書は、彼の生涯を通じての学問的財産となった。現在、彼の将来した文書類はパリ国立図書館に、遺物類はギメ美術館に所蔵されている。『敦煌千仏堂』ほか、著書、論文が多くある。(小学館『日本大百科全書(ニッポニカ)』の辞書項目)

ペリオが46歳の時から1890年創刊の名高い「東洋学雑誌 T'oung Pao (通報) の編集にも携わって学界をリードした」という上記の評価からも分かるように、1920年代中期以降のペリオが正に湖南のいう「歐羅巴の中央」における東洋学界のリーダーであった。³⁾

拙編に対する高田先生の特別寄稿「ポール・ペリオと内藤湖南」(以下「特別寄稿」と略記)によれば、湖南が京大講師から教授に昇進した1909年の秋『大阪朝日』に寄稿した「敦煌石室の発見物」にペリオの発掘調査を紹介しており、一方のペリオも1912年の『通報』に「内藤虎次郎氏による日本近刊の唐代寫本三種」(高田氏による邦訳、原文はフランス語)と題する書評を発表している。このように早くもお互いの仕事に注目し業績を認め合った二人は十数年後の1924年湖南の欧州調査旅行を機縁により顔合わせを実現し、ペリオが好意的に自宅に珍藏している敦煌写本を開示し、湖南および随行する門弟石濱純太郎、長男内藤乾吉、娘婿鴛淵一とパリ留学中の松本信廣などによる写真撮影の作業に協力した。

二人の大学者がその後文通などにより親交がますます

深まっていった。その証左として、湖南が紹介した門下生たちのフランス文献調査に対するペリオの便宜提供以外、以下の二件があげられる。まず、1926年出版の『内藤博士還暦祝賀 支那學論叢』へのペリオ寄稿で、同書には湖南と親しく交流している羅振玉、王国維と傅增湘など中国の大学者も寄稿しているため、国際東洋学界における湖南の地位、人脈と影響が窺える一冊となっている。

二つ目は、すなわち1935年6月25日湖南一周忌法要参列前々日の恭仁山莊来訪時のペリオの訪問記帳であるが、高田先生が上記の特別寄稿で次のように紹介している。

今回の来日の目的の一つであった湖南の恭仁山莊には、翌二十三日になってようやく訪問が叶い、未亡人の郁子刀自に面會した。同行者は嗣子乾吉、羽田亨、石濱純太郎、そして石田幹之助である。その時に撮った寫眞が残っている(圖七)。ペリオはその時、署名代わりに次のような短いメッセージを残している(圖八)。En souvenir de ma visite à la bibliothèque du professeur Naito où je suis venu comme un pèlerinage. 23 juin 1935. Paul Pelliot (巡禮の如く尋ね来た内藤教授の文庫訪問記念に、一九三五年六月二十三日)。⁴⁾ [図2]

因みに、文中の(圖八)に関する注釈に、「關西大學内藤文庫、三〇湖南葬儀關係三八「色紙帖」の一葉。上部にペリオによるペン書きメッセージがあり、下に羽田亨、石濱純太郎、石田幹之助の墨書署名が

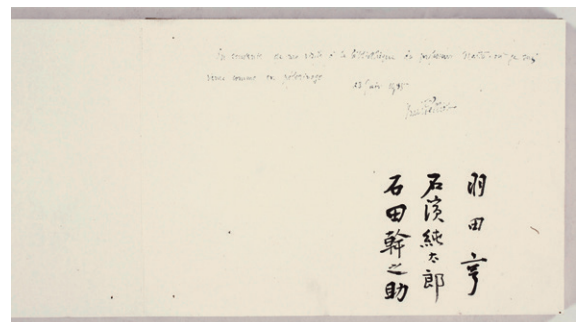


図2 ペリオなどの訪問記帳(1935年6月23日)
ペリオが色紙の上部にペンで書いたメッセージは90年を経て相当色褪せている。下部の右側に羽田、石濱、石田諸氏の墨書。関西大学図書館内藤文庫蔵

ある。最近、陶徳民氏により発見された」と、私の幸運な発見に触れていただいた。⁵⁾

実をいうと、このペリオの記帳内容は、2021年2月下旬に行った内藤文庫調査時に気づいたものである。当時同志社大学の銭嶋先生も貴重資料閲覧室にいたので、そのフランス留学中のお嬢さんにこのメッセージの中国語を訳してもらえないかと依頼した。約一週間後、「以此紀念我像朝聖般来到了内藤教授的文庫」という訳文を有難くいただいた。同年5月初旬に開催された東アジア文化交渉学会第十三回年次大会におけるパネル「東西交往与羅王之学」（東洋・西洋の交渉と羅振玉・王国維の学問）において、私は「伯希和一九三五年初夏の遠東行程是如何定下的？—参加内藤湖南一周忌法要也是重要因素」（ペリオが一九三五年初夏の極東旅程を如何に決めたのか—内藤湖南の一周忌法要参列も重要な動機づけだった）と題する発表を行った時、ペリオが中国訪問の続きで日本を訪問した経緯を紹介し、併せてこの恭仁山荘での記帳内容を紹介した。

近年、東洋文庫の創設と発展に貢献された石田幹之助（1891-1974）の旧蔵書が同文庫に寄贈された。同文庫の図書部長として、高田先生がその調査成果の一部を「モリソン文庫の頃 鳥居坂發掘記（其一）」『東洋文庫書報』第55号、2024年）、「ペリオの來日 鳥居坂發掘記（其二）」（同第56号、2025年）に発表している。後者によれば、1935年春に結成された「ペリオ教授歓迎準備委員会」のメンバーで東洋文庫から国際文化振興会に転職した直後の石田が、ペリオが6月12日横浜到着から同月25日神戸出発までの日本訪問全行程の世話役を担当していた。遺物中の「ペリオ教授來游關係資料、全寫眞」を紐解いた結果、ペリオの東京訪問日程と出会った方々に関する情報がより確実に知ることができた。その上、石田本人も写っている記念写真が、当日のペリオ応接に実際参加していた湖南の次男耕次郎が石田のカメラを使って撮ったものであったことや、耕次郎が写っているこれまで未知の一枚も存在した（石田が代わりに撮ってあげたに違いない）ことなども分かった。[図3] [図4]

このようにペリオが両帝大を含む東京・京都の主要学術機関、そして湖南の恭仁山荘を巡礼してから、



図3 ペリオの恭仁山荘来訪時の記念写真1（内藤耕次郎撮影）
左より：ペリオ、内藤乾吉（前）、石濱純太郎（後ろ）、湖南の未亡人田口氏、羽田亨、石田幹之助
安藤徳器『西園寺公と湖南先生』（言海書房1936年）より転載



図4 ペリオの恭仁山荘来訪時の記念写真2（石田幹之助撮影）
乾吉の右に座っているのは次男耕次郎、他の方々は写真3と同様。
高田時雄「ペリオの來日 鳥居坂發掘記（其二）」（『東洋文庫書報』第56号、2025年）より転載

最終日の6月25日、午前京都市法然院で執り行われた湖南の一周忌法要に参列してから、午後にも神戸から帰国し、その最初で最後の日本訪問を終えたのであった。

実は、ペリオは1932年12月より二か月にわたり中国各地を訪問したが、その旅程を知った湖南が日本に足を伸ばして来訪せよと懇願したが、久しぶりの再会はずいに実現しなかった。この経過について、高田先生が「特別寄稿」で詳述しているが、最後は「ここ数年あれほど待ち焦がれた湖南と膝をつき合わせて語り合うことは叶わなかったが、湖南の書齋恭仁山荘を訪れ、法然院の一周忌にも参列し得たことは、なにがしかの慰めとなった筈である」というコメントで締め括った。

(2) 満洲国吉林省長春縣々長宋徳玉の挽聯

さて、拙編『内藤湖南の人脈と影響— 関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る—』の主な内容構成は次のようになっている。

「口絵集」、「第一部 写真で見る内藤湖南の生涯事蹟」、「第二部 還暦祝賀関係資料」、「第三部 葬祭関係資料」、「付録一 富岡謙蔵関係資料」、「付録二 名簿類」、「付録三 報道・回想」、「解説に代えて 晩年の湖南— 還暦前後から一周忌までの事ども— 陶徳民」および「特別寄稿 ポール・ペリオと内藤湖南 高田時雄」。

このうちの「第三部 葬祭関係資料」が紙幅として一番多く42ページにわたるが、その概要と配置方法（資料の相関性から比較・連想されやすくなるという閲覧効果を図るため、ペアで見開きの両頁に配置する形を取る）について、拙文『『内藤湖南の人脈と影響』編集記— 礪波護・高田時雄両先生の助言にふれて—』（『湖南』第43号、2023年3月）の第三節「本書の構成上と情報提示上の工夫と狙い」で次のように紹介している。

冒頭には、勳位追贈、祭資下賜および朝鮮総督府による特別賞與などの公文書・文物と追悼会で配布された記念葉書三枚セット（ご遺像、昭和天皇へご進講後の「紀恩詩」、逝去後に国宝と認定された唐写本「説文木部残卷」の末尾に書かれた満洲国総理鄭孝胥の題辞）などを見開きの五十八、五十九両頁に配置した。その続きで、追悼会で配布された記念色紙三枚（前掲「山莊除夕」、ご進講記念、鄭総理との唱酬という漢詩三首）、懐徳堂記念会理事長小倉正恒、東方文化学院東京研究所所員一同および日満文化協会副会長岡部長景の弔辞は六十、六十一両頁に、羽田亨京大文学部長、有高巖受業総代の弔辞と長尾雨山の弔詩は六十二、六十三両頁に、満日文化協会会長鄭孝胥と満洲国駐在大使菱刈隆の弔辞、吉林省教育廳々長張書翰、同吉林省長春縣々長宋徳玉などの挽聯（前者の記載「東亜文化社々長内藤先生 千古」より湖南の満洲国における文化活動を窺い知れる、後者の挽聯は片方が紛失している可能性がある）は百、百一両

頁にと、それぞれペアで見開きの形で配置している。調査時に気づいた「内藤湖南親族忌辰」という湖南の二親等以内の親族の忌日を記録した信憑性の高い資料も念のために掲載することにした。

ところで、ここに「片方が紛失している可能性がある」とされた宋徳玉などの挽聯の上聯は、2025年12月8日に行った再調査により見付かった。従って、本寄稿による公表で拙編101頁における掲載漏れを補いたいと思う。[図5]

今振り返ってみれば、拙編を作るための当初の調査時に見過した一因は、目録「30 湖南葬儀関係 9-12 請求記号 L21**7*30-2 資料ID: 211069230」における以下の関連記載に不備の問題もあった。

番号	書名等	数量	備考
11 の ①	書軸 『流水高山成古』	1軸	内藤虎次郎先生千古
11 の ②	書軸 『清風明月想遺徽』	1軸	満洲帝国…徳玉率本署職員等敬輓

まず、書軸①は実際の7文字「流水高山成古調」となっているが、目録に「調」という文字が脱落し



図5 宋徳玉の挽聯 関西大学図書館内藤文庫蔵

ているため、書軸②の7文字「清風明月想遺徽」（「遺徽」とは故人の美德）とは不对称になってしまったため、同一挽聯中の上聯・下聯という一対のものであるはずと認めにくくなった。そして、同じく拙編101頁に掲載されている吉林省教育廳々長張書翰の挽聯に関する目録記載は「布書『德望著…』吉林省教育……張書翰 恭輓 2枚」となっているため、挽聯に違いないと意識しやすかった。これに対して、この二つの書軸は別々の1軸とされているため、挽聯であるはずだと意識しにくくなった。ただ、もし当初の調査閲覧を徹底すれば、その筆跡よりも同一

の挽聯であると確認できたはずで、自分にも確かに手落ちがあったと認めるべきである。

因みに、この挽聯が湖南没後に満洲帝国の首都・新京（今の長春市）にある高等女学校講堂で開催された追悼会の壇上に掲げられていたことも、今回の再調査により確認できた。追悼会会場の写真は、拙編の33頁下段に図32-4として掲載されており、壇上の中央に「康徳陛下書」、すなわち皇帝溥儀の挽幛「博学多聞」[図6]が、両側にはそれぞれ4幅の挽聯が掲げられていた（向かって右側は上聯、左側は下聯）。宋徳玉の挽聯の上聯「流水高山成古調」は右から2幅目で、写真の角度の関係で「高山成古調」という5文字しか見えず、冒頭の2文字「流水」が見えないことになっている（「高」の字も下の半分だけ見えた）。下聯の「清風明月想遺徽」は左から2幅目で、やはり写真の角度の関係で「明月想遺徽」という5文字しか見えず、冒頭の2文字「清風」が見えないことになっている。[図7]

なお、満蒙資料協会編『満洲紳士録』（1940年第3版）によれば、宋徳玉は1882（光緒8年）奉天地方に生まれ、北洋法政研究所（天津）卒業、地方官および中央省庁官僚を経て1933（大同2）年吉林省長春縣々長に就任。1938（康徳5）年協和会熱河省本部事



図6 湖南の学識を讃える溥儀の挽幛「康徳陛下書」と名付けられるこの薄黄の絹布の挽幛にある墨書（博学多聞）と朱印（勤民樓寶）の内容と背景について、陶徳民編著『内藤湖南と清人書画—関西大学図書館内藤文庫所蔵品集』83-84頁、陶論文「康徳帝」溥儀の即位儀礼と内藤湖南の見解—国立国会図書館所蔵の斎藤実首相宛書簡について」（『関西大学東文学術研究所紀要』第54輯）を参照されたい。
関西大学図書館内藤文庫蔵



図7 満洲帝国新京高等女学校講堂で開かれた故内藤湖南博士追悼会（1934年7月9日）
関西大学図書館内藤文庫蔵

務長、1940（康徳7）年協和会首都本部参事となった
 そうである〔国立国会図書館デジタルコレクション
<https://dl.ndl.go.jp/pid/1687713>（参照 2026-02-
 13）〕。

（3）湖南没後 90 年に因む顕彰活動と拙編に関する フィードバック

2024 年 6 月 26 日は湖南没後 90 年目の忌日である。同年 3 月末日で終了した 4 年間の科研プロジェクト「大正期日本の中国研究と第一次世界大戦前後の世界—内藤文庫所蔵資料を中心に」（基盤研究（B）課題番号 20H04412 研究代表者：陶徳民）の成果発信と近年の湖南研究と顕彰活動をめぐる情報交換を行うために、二つの会議を企画した。東アジア文化交渉学会第 16 国際学術大会におけるパネル「内藤湖南研究と顕彰活動の新しい展開—湖南没後 90 周年を記念して」（福井、2024 年 5 月 11 日。司会者：鹿角市先人顕彰館・大澤太館長。報告者：大澤、岩田孝一、陶徳民、川上哲正、小松昌弘、石暁軍、石永峰）と、第 68 回国際東方学術会議における国際シンポジウム II「内藤湖南にみる近代日本東洋学の特質—没後九〇年を記念して」（東京、2024 年 5 月 18 日。司会者：同志社大学・村田雄二郎。報告者：金澤文三、菅野智明、銭婉約、竹元規人、陶徳民）であった。前者において、関西大学恭仁山荘が所在する京都府木津川市の恭仁山荘保存支援会および内藤湖南先生顕彰会の副会長を務める岩田氏が現在、同顕彰会は湖南先生の月命日に合わせて曜日にかかわらず毎月 26 日の午後に同山荘を借り、前半 1 時間は山荘の清掃・換気を行い、後半 2 時間は「恭仁山荘サロン」という懇話会の開催に充てており、しかもその時間帯は一般の見学希望者にも対応していると紹介した。それと同時に、顕彰会員の一部分が拙編における湖南葬儀の参列各位芳名録から自分の親族の名前を見出したことを喜んでいるとも言及した。最近、この件について確認したところ、岩田氏もそのような一人であり、その本家の当時の戸主岩田恒

義（当時恭仁山荘が所在した瓶原村の村長であった）が 1934 年 6 月 29 日に湖南の葬儀に参列していたと回答して下さった（拙編 78 頁の画像第二段）。恭仁山荘の保存支援と内藤先生の顕彰活動に情熱を注がれている岩田氏に敬意を表したい次第である。

追記

本稿は、日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（B）「内藤湖南筆談研究—関西大学内藤文庫所蔵資料を中心に」課題番号 25K00407 研究代表者：村田雄二郎）による研究成果の一部である。なお、多くのご教示をいただいた杉村邦彦先生（1939-2023）と礪波護先生（1937-2024）が近年亡くなられました。謹んでご冥福をお祈りします。

注釈

- 1) 一例として、高木尚子「資料 内藤湖南早期執筆文目録 関西大学内藤文庫所蔵紙誌書き込みと父親宛書簡を根拠として」（上）・（下）（『湖南』第 37 号 2017 年、第 38 号 2018 年に連載）という論文が挙げられる。因みに、『内藤湖南・十湾書簡集 第二集』（2024 年）に収録された書簡 119 通は同氏の内藤文庫調査で見えられたものである。
- 2) 鹿角市教育委員会『内藤湖南・十湾書簡集』（2016 年）、161 頁。
- 3) 丁斯甘氏も 1920 年から 1944 年まで『通報』に掲載された論文と書評に対する統計的研究により、ペリオが同時期フランスの西域史研究の第一人者であったことを確認した。丁斯甘「從『通報』看 20 世紀上半葉法國西域史地研究」（北京外国語大学『国際漢学』2021 年第 3 期）。
- 4) 高田時雄「ポール・ペリオと内藤湖南」（特別寄稿）、陶徳民編著『内藤湖南の人脈と影響—関西大学内藤文庫所蔵還暦祝賀及び葬祭関連資料に見る—』、204 頁。
- 5) 高田氏特別寄稿の注 47。同上、211 頁。因みに、ペリオ等の訪問記帳（拙編 114 頁下段）という一枚を含む色紙帖の全体は拙編において「要人関連記録」として掲載されているため、特別寄稿の（圖八）はペリオの記帳の部分のみとなっており、羽田、石濱、石田三者の墨書の部分がカットされた形となっている。

（とう とくみん

関西大学名誉教授、東洋文庫研究員）

図書館自己点検・評価について

2025年度

□ 目 次 □

自己点検・評価関係資料

- | | | |
|---|------------------------|------|
| 1 | 基礎データ（2025年度） | (1) |
| 2 | 10年間の推移（2016年度～2025年度） | (25) |
| 3 | 2025年度図書館自己点検・評価委員会名簿 | (36) |
| 4 | 図書館自己点検・評価委員会規程 | (37) |

図書館自己点検・評価委員会

自己点検・評価関係資料

1 基礎データ（2025年度）

- (1) 入館者に関する統計
 - a 過去5年間の館別・月別開館日数
 - b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数
 - c 館別・月別・資格別入館者数および1日当たり平均入館回数
 - d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）
 - e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数（総合図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館）
- (2) 図書資料の利用に関する統計
 - a 館別・月別図書利用者数および利用冊数
 - b 月別入庫検索者数（総合図書館）
 - c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）
 - c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）
 - c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）
 - c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）
 - d-1 Webによるサービスの利用状況
 - d-2 Web機能の使用状況
 - e 文献複写サービス
 - f 図書館間相互利用件数
 - g 参考業務（総合図書館）
 - h 利用指導
 - i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル
 - j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数
 - k 過去5年間のリポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移
 - l 過去5年間の資料電子化の推移
 - m キャンパス間相互利用件数（予約取寄せ）
 - n 利用者用パソコン設置台数
- (3) 蔵書に関する統計
 - ① 収書状況
 - a 図書資料の所蔵数（2025年度末現在）
 - b 過去5年間の図書の受入数
 - c 図書資料異動状況
 - d 雑誌・新聞受入種類数
 - ② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）
 - ③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）
 - ④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合
 - a 分類別冊数
 - b 分類別冊数の全体に占める割合
 - ⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額
 - ⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額
- (4) その他関連統計等
 - a 過去5年間の図書館職員
 - b 学生の閲覧座席数（2026年4月1日現在）
 - c 10年間の展示会テーマと会期
 - d 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）

(1) 入館者に関する統計

a 過去5年間の館別・月別開館日数

館名	月	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
総合図書館	2021年度		26	18	27	30	16	26	31	30	25	24	16	23	292	
		(3)	(0)	(1)	(4)	(0)	(1)	(5)	(6)	(3)	(4)	(0)	(0)	(27)		
	2022年度		30	31	29	31	18	26	31	26	26	25	16	23	312	
		(4)	(8)	(3)	(5)	(0)	(1)	(5)	(4)	(4)	(5)	(0)	(0)	(39)		
	2023年度		30	31	30	31	19	26	31	26	25	26	17	22	314	
		(5)	(7)	(4)	(5)	(0)	(2)	(6)	(4)	(4)	(5)	(0)	(0)	(42)		
	2024年度		30	31	30	31	19	26	31	26	25	26	16	22	313	
		(4)	(7)	(5)	(4)	(0)	(2)	(5)	(3)	(4)	(4)	(0)	(0)	(38)		
	2025年度		30	31	30	31	17	27	31	26	25	24	16	22	310	
		(4)	(7)	(5)	(4)	(0)	(2)	(4)	(4)	(3)	(4)	(0)	(0)	(37)		
	高槻 キャンパス 図書館	2021年度		23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264
		2022年度		25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272
2023年度			24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270	
2024年度			26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274	
2025年度			26	24	25	27	13	22	27	22	22	20	21	22	271	
ミュージズ 大学図書館	2021年度		23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	18	23	261	
	2022年度		25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272	
	2023年度		24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270	
	2024年度		26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274	
	2025年度		26	24	25	27	13	22	27	22	22	20	21	22	271	
堺キャンパス 図書館	2021年度		23	18	26	26	13	22	26	24	22	20	21	23	264	
	2022年度		25	23	26	26	16	22	26	22	22	20	21	23	272	
	2023年度		24	24	26	26	17	21	25	23	21	21	20	22	270	
	2024年度		26	24	25	27	15	21	26	24	21	22	21	22	274	
	2025年度		26	24	25	27	13	22	27	22	22	20	21	22	271	
吹田みらい キャンパス 図書館	2025年度		22	20	21	23	13	21	23	18	19	17	18	19	234	

注1 総合図書館の下段()は内数で、授業期間中の日曜・祝日開館日数を示す。高槻・ミュージズ・堺の各図書館は日曜・祝日は休館。吹田みらいキャンパス図書館は土曜・日曜・祝日休館。

注2 夏季一斉休業期間中の休館 8月11日～8月20日

注3 冬季一斉休業期間中の休館 12月26日～1月6日

注4 入学試験等による休館 2月1日～2月7日

注5 年度末休館 3月28日～3月31日

b 館別・所属別入館者数および1人当たり平均入館回数

所属		館名	総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館	吹田みらい キャンパス図書館
学部学生	法 学 部	入 館 者 数	64,617	2	133	93	8
		平均入館回数	21.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	文 学 部	入 館 者 数	65,592	1	293	125	6
		平均入館回数	19.8	0.0	0.1	0.0	0.0
	経 済 学 部	入 館 者 数	49,666	4	90	106	3
		平均入館回数	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	商 学 部	入 館 者 数	37,398	0	109	53	2
		平均入館回数	11.9	0.0	0.0	0.0	0.0
	社 会 学 部	入 館 者 数	36,448	11	53	139	2
		平均入館回数	10.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	政策創造学部	入 館 者 数	20,688	0	103	96	1
		平均入館回数	13.7	0.0	0.1	0.1	0.0
	外 国 語 学 部	入 館 者 数	10,806	0	2	6	1
		平均入館回数	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0
	人間健康学部	入 館 者 数	2,347	1	5	10,106	0
		平均入館回数	1.7	0.0	0.0	7.3	0.0
	総合情報学部	入 館 者 数	1,143	20,283	1,375	109	1
		平均入館回数	0.5	9.2	0.6	0.0	0.0
	社会安全学部	入 館 者 数	985	5	8,305	43	1
		平均入館回数	0.8	0.0	7.1	0.0	0.0
システム理工学部	入 館 者 数	42,932	6	18	36	5	
	平均入館回数	19.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
環境都市工学部	入 館 者 数	21,440	1	16	4	0	
	平均入館回数	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
化学生命工学部	入 館 者 数	30,270	0	15	5	0	
	平均入館回数	19.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
ビジネスデータ サイエンス学部	入 館 者 数	1,822	0	1	1	250	
	平均入館回数	4.6	0.0	0.0	0.0	0.6	
学部合計		入 館 者 数	386,154	20,314	10,518	10,922	280
		平均入館回数	13.6	0.7	0.4	0.4	0.0
大学院学生		入 館 者 数	26,743	493	502	370	11
		平均入館回数	13.1	0.2	0.2	0.2	0.0
専任教職員	大 学 教 員	入 館 者 数	4,244	253	436	198	47
		平均入館回数	5.6	0.3	0.6	0.3	0.1
	高 中 小 幼 教 諭	入 館 者 数	31	0	21	0	0
		平均入館回数	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
事 務 職 員	入 館 者 数	1,541	41	59	7	9	
	平均入館回数	3.1	0.1	0.1	0.0	0.0	
上記を除く教職員		入 館 者 数	7,540	156	334	215	25
校 友		入 館 者 数	12,526	53	1,653	852	0
そ の 他		入 館 者 数	19,036	524	6,059	777	46
合 計		入 館 者 数	457,815	21,834	19,582	13,341	418

注1 平均入館回数は、入館者数を利用対象者数（2025年5月1日現在）で除した1人当たりの数値である。

注2 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

c 館別・月別・資格別入館者数および1日当り平均入館回数

館名・資格 月	総合図書館						日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計		
4	43,230	3,633	1,700	1,196	1,985	51,744	1948.8	269.0
5	45,736	2,985	1,481	1,245	1,995	53,442	2146.7	274.4
6	45,382	2,925	1,449	1,239	1,976	52,971	2054.6	321.0
7	70,573	3,010	1,447	1,497	2,268	78,795	2790.4	863.3
8	4,194	795	514	757	739	6,999	411.7	—
9	16,010	1,755	1,015	1,006	1,572	21,358	834.6	247.0
10	39,795	2,971	1,331	1,277	2,106	47,480	1719.5	263.3
11	33,648	2,571	1,161	1,014	1,664	40,058	1775.1	251.5
12	32,502	2,444	1,103	875	1,611	38,535	1715.4	265.3
1	46,155	2,127	976	924	1,463	51,645	2427.7	772.8
2	4,253	736	510	584	649	6,732	420.8	—
3	4,676	791	669	912	1,008	8,056	366.2	—
合 計	386,154	26,743	13,356	12,526	19,036	457,815	1623.9	391.8

館名・資格 月	高槻キャンパス図書館						日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計		
4	3,176	69	66	2	51	3,364	129.4	—
5	3,060	51	48	0	54	3,213	133.9	—
6	2,772	40	43	4	48	2,907	116.3	—
7	3,052	50	43	9	43	3,197	118.4	—
8	24	7	12	3	26	72	5.5	—
9	1,082	30	24	9	41	1,186	53.9	—
10	2,162	70	53	15	56	2,356	87.3	—
11	1,604	44	39	3	40	1,730	78.6	—
12	1,483	37	56	0	45	1,621	73.7	—
1	1,779	51	33	1	42	1,906	95.3	—
2	64	15	12	1	36	128	6.1	—
3	56	29	21	6	42	154	7.0	—
合 計	20,314	493	450	53	524	21,834	80.6	—

館名・資格 月	ミュージズ大学図書館						日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計		
4	1,354	69	103	182	595	2,303	88.6	—
5	1,576	60	102	171	576	2,485	103.5	—
6	1,281	42	89	199	596	2,207	88.3	—
7	1,717	57	75	334	733	2,916	108.0	—
8	132	10	33	118	287	580	44.6	—
9	456	21	74	91	479	1,121	51.0	—
10	859	64	111	104	546	1,684	62.4	—
11	675	61	66	91	551	1,444	65.6	—
12	734	66	61	92	543	1,496	68.0	—
1	1,304	22	59	94	398	1,877	93.9	—
2	276	14	35	68	365	758	36.1	—
3	154	16	42	109	390	711	32.3	—
合 計	10,518	502	850	1,653	6,059	19,582	72.3	—

館名・資格 月	堺 キャンパス 図書館							日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計			
4	1,356	37	55	60	61	1,569	60.3	—	
5	1,239	36	45	73	69	1,462	60.9	—	
6	1,465	38	50	82	76	1,711	68.4	—	
7	1,653	38	44	128	95	1,958	72.5	—	
8	124	10	20	32	33	219	16.8	—	
9	545	23	27	64	36	695	31.6	—	
10	1,280	35	42	116	57	1,530	56.7	—	
11	1,078	29	30	77	73	1,287	58.5	—	
12	945	35	29	52	92	1,153	52.4	—	
1	1,041	40	44	51	77	1,253	62.7	—	
2	122	15	15	49	47	248	11.8	—	
3	74	34	19	68	61	256	11.6	—	
合 計	10,922	370	420	852	777	13,341	49.2	—	

館名・資格 月	吹田 みらい キャンパス 図書館							日平均 月～土曜日	日平均 日曜・祝日
	学部学生	大学院学生	教職員	校 友	その他	合 計			
4	93	3	8	0	3	107	4.9	—	
5	27	1	4	0	4	36	1.8	—	
6	31	1	3	0	2	37	1.8	—	
7	31	0	7	0	13	51	2.2	—	
8	1	0	3	0	0	4	0.3	—	
9	8	0	11	0	4	23	1.1	—	
10	30	1	13	0	8	52	2.3	—	
11	20	0	12	0	4	36	2.0	—	
12	22	0	7	0	1	30	1.7	—	
1	9	2	9	0	3	23	1.4	—	
2	5	2	2	0	2	11	0.6	—	
3	3	1	2	0	2	8	0.4	—	
合 計	280	11	81	0	46	418	1.8	—	

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。

注2 「教職員」はb表から、「専任教職員」および「上記を除く教職員」を示す。

d 時期別・時間帯別総入館者数および1日当たり平均入館者数（総合図書館）

区分	時間帯	9~10	10~11	11~12	12~13	13~14	14~15	15~16	16~17	17~18	18~19	19~20	20~21	21~22	合計		
春学期	授業期間	総入館者	8,793	20,545	12,709	34,724	17,070	31,556	11,865	23,074	10,776	6,973	4,591	2,105	625	185,406	
		1日平均	104.7	244.6	151.3	413.4	203.2	375.7	141.3	274.7	128.3	83.0	54.7	25.1	7.4	2,207.4	
	試験期間	総入館者	2,095	3,547	3,261	5,690	4,370	6,154	3,483	4,213	2,791	2,025	1,656	928	177	40,390	
		1日平均	149.6	253.4	232.9	406.4	312.1	439.6	248.8	300.9	199.4	144.6	118.3	66.3	12.6	2,885.0	
	休暇期間	総入館者	/	2,256	1,355	2,072	2,359	2,208	1,949	1,835	1,239	615	272	/	/	16,160	
		1日平均	/	59.4	35.7	54.5	62.1	58.1	51.3	48.3	32.6	16.2	7.2	/	/	425.4	
	小計	総入館者	10,888	26,348	17,325	42,486	23,799	39,918	17,297	29,122	14,806	9,613	6,519	3,033	802	241,956	
		1日平均	80.1	193.7	127.4	312.4	175.0	293.5	127.2	214.1	108.9	70.7	47.9	22.3	5.9	1,779.1	
	秋学期	授業期間	総入館者	6,657	14,676	10,374	29,139	15,870	24,838	10,634	18,122	9,785	6,143	4,121	2,119	702	153,180
			1日平均	78.3	172.7	122.0	342.8	186.7	292.2	125.1	213.2	115.1	72.3	48.5	24.9	8.3	1,802.1
		試験期間	総入館者	1,665	2,581	2,886	4,526	3,824	4,949	3,059	3,425	2,436	1,742	1,328	757	218	33,396
			1日平均	118.9	184.4	206.1	323.3	273.1	353.5	218.5	244.6	174.0	124.4	94.9	54.1	15.6	2,385.4
休暇期間		総入館者	/	1,718	1,419	1,796	2,055	2,126	1,878	1,692	1,220	607	277	/	/	14,788	
		1日平均	/	43.0	35.5	44.9	51.4	53.2	47.0	42.3	30.5	15.2	6.9	/	/	369.9	
小計		総入館者	8,322	18,975	14,679	35,461	21,749	31,913	15,571	23,239	13,441	8,492	5,726	2,876	920	201,364	
		1日平均	59.9	136.5	105.6	255.1	156.5	229.6	112.0	167.2	96.7	61.1	41.2	20.7	6.6	1,448.7	
日祝開館		総入館者	/	2,205	1,490	1,971	2,609	2,299	1,908	1,373	640	/	/	/	/	14,495	
		1日平均	/	59.6	40.3	53.3	70.5	62.1	51.6	37.1	17.3	/	/	/	/	391.8	
年度合計		総入館者	19,210	47,528	33,494	79,918	48,157	74,130	34,776	53,734	28,887	18,105	12,245	5,909	1,722	457,815	
		1日平均	61.6	152.3	107.4	256.1	154.3	237.6	111.5	172.2	92.6	58.0	39.2	18.9	5.5	1,467.2	

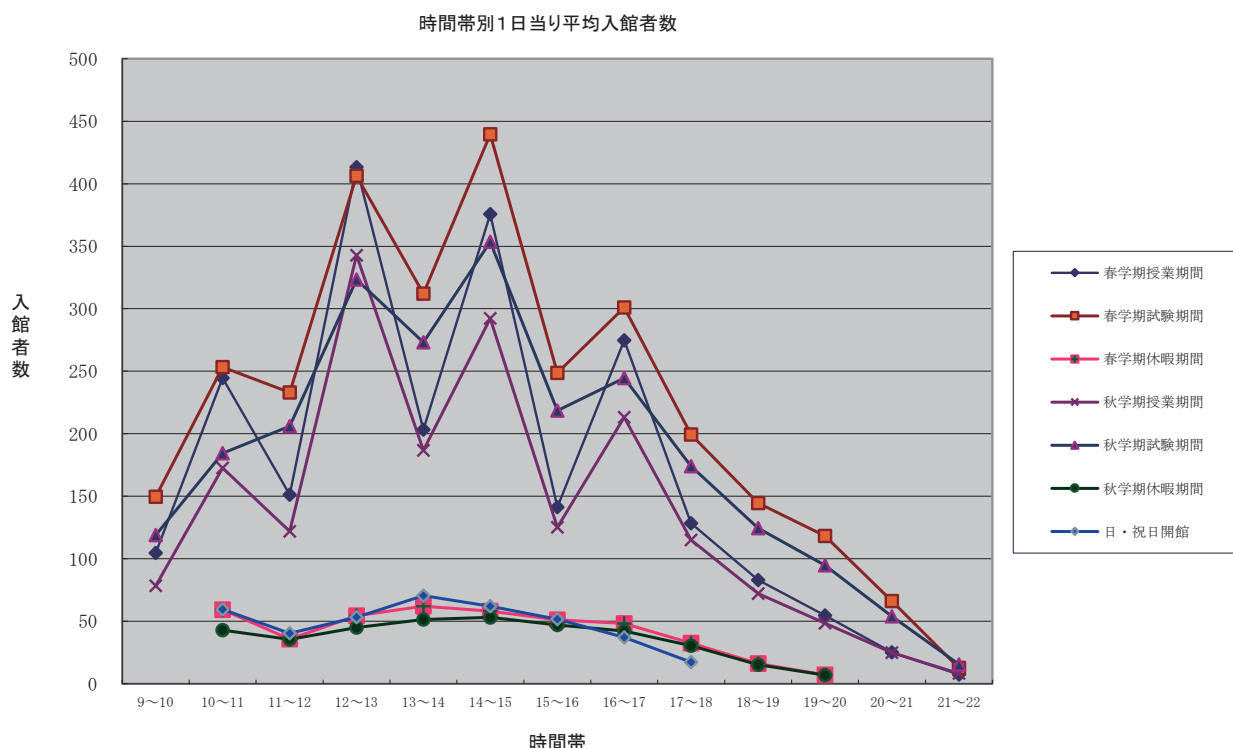
注1 春学期 授業期間：4月5日～7月22日、試験期間：7月23日～7月31日

休暇期間：4月1日～4日、8月1日～9月20日

秋学期 授業期間：9月21日～12月25日、1月7日～1月21日、試験期間：1月22日～1月29日

休暇期間：12月26日～1月6日、1月31日～3月31日

注2 試験期間とは、図書資料の貸出期間を3日間に短縮した日から試験終了日（予備日含む）までを示す。



(7)

図書館フォーラム第31号(2026)

e 過去5年間の地域市民の図書館利用申請者数(総合図書館・ミュージズ大学図書館・堺キャンパス図書館)

総合図書館	新規	再登録	合計	対象
2021年度	60	93	153	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2022年度	35	121	156	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2023年度	48	106	154	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2024年度	36	127	163	吹田市・池田市・八尾市の在住者
2025年度	40	135	175	吹田市・池田市・八尾市の在住者

注1 2025年度の登録者数の内訳は、吹田市172名、池田市3名、八尾市0名

ミュージズ大学図書館	新規	再登録	合計	対象
2021年度	25	59	84	高槻市在住者
2022年度	28	54	82	高槻市在住者
2023年度	34	57	91	高槻市在住者
2024年度	18	77	95	高槻市在住者
2025年度	25	66	91	高槻市在住者

堺キャンパス図書館	新規	再登録	合計	対象
2021年度	14	11	25	堺市在住者
2022年度	13	16	29	堺市在住者
2023年度	13	16	29	堺市在住者
2024年度	4	14	18	堺市在住者
2025年度	4	12	16	堺市在住者

(2) 図書資料の利用に関する統計

a 館別・月別図書利用者数および利用冊数

利用者区分		月												合計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合図書館	館内閲覧	学部学生	127	278	205	254	27	81	302	187	215	150	23	13	1,862
			162	395	300	357	42	114	432	314	361	219	30	14	2,740
		大学院学生	50	89	84	64	21	59	110	70	71	41	31	31	721
			85	187	176	134	33	130	276	195	172	76	79	80	1,623
		教職員	48	22	35	39	32	29	29	28	31	36	8	22	359
			106	35	64	89	93	85	48	63	71	57	13	25	749
	その他	91	66	76	64	60	69	94	78	86	68	60	68	880	
		224	150	143	223	145	234	228	191	259	194	151	289	2,431	
	計	316	455	400	421	140	238	535	363	403	295	122	134	3,822	
		577	767	683	803	313	563	984	763	863	546	273	408	7,543	
	館外貸出	学部学生	4,359	5,735	5,800	6,409	861	2,168	5,695	4,896	5,229	4,117	536	450	46,255
			7,365	9,948	9,868	11,488	1,890	4,045	9,993	8,763	9,754	8,263	1,141	864	83,382
大学院学生		1,354	1,216	1,297	1,120	371	849	1,284	1,087	1,018	888	284	347	11,115	
		2,622	2,209	2,360	2,138	807	1,700	2,274	2,008	1,981	1,812	637	738	21,286	
教職員		919	769	808	763	328	626	717	701	637	554	353	378	7,553	
		1,867	1,424	1,511	1,534	721	1,286	1,498	1,565	1,294	1,229	723	740	15,392	
その他	624	643	622	567	404	556	723	643	591	577	332	452	6,734		
	1,248	1,341	1,342	1,208	1,030	1,207	1,504	1,319	1,266	1,328	775	1,102	14,670		
計	7,256	8,363	8,527	8,859	1,964	4,199	8,419	7,327	7,475	6,136	1,505	1,627	71,657		
	13,102	14,922	15,081	16,368	4,448	8,238	15,269	13,655	14,295	12,632	3,276	3,444	134,730		
合計	7,572	8,818	8,927	9,280	2,104	4,437	8,954	7,690	7,878	6,431	1,627	1,761	75,479		
	13,679	15,689	15,764	17,171	4,761	8,801	16,253	14,418	15,158	13,178	3,549	3,852	142,273		

利用者区分		月												合 計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
高槻キャンパス図書館	館内閲覧・館外貸出	学部学生	301	297	280	219	5	95	193	162	139	141	25	14	1,871
			478	433	396	358	8	165	293	227	228	265	54	22	2,927
	大学院学生		27	31	24	18	6	18	34	31	24	20	7	9	249
			50	69	46	33	10	35	62	52	45	42	11	14	469
	教 職 員		27	24	16	20	8	24	26	18	25	22	12	9	231
			39	40	29	56	21	50	59	38	46	45	35	40	498
	そ の 他		34	25	22	30	16	12	25	19	45	19	12	16	275
			51	54	40	44	28	14	31	37	73	31	19	25	447
	計		389	377	342	287	35	149	278	230	233	202	56	48	2,626
			618	596	511	491	67	264	445	354	392	383	119	101	4,341
ミューズ大学図書館	学部学生		83	96	89	98	14	35	62	47	65	108	32	23	752
			131	137	144	178	17	58	89	69	97	176	53	36	1,185
	大学院学生		19	21	12	11	4	8	17	7	17	5	5	6	132
			64	36	26	29	5	10	39	17	41	9	5	16	297
	教 職 員		30	25	37	17	13	22	24	9	20	10	7	9	223
			51	43	56	32	28	41	38	10	31	26	12	17	385
	そ の 他		94	87	94	82	46	73	78	77	93	79	74	78	955
			179	171	154	133	84	123	138	140	184	161	133	144	1,744
	計		226	229	232	208	77	138	181	140	195	202	118	116	2,062
			425	387	380	372	134	232	304	236	353	372	203	213	3,611
堺キャンパス図書館	学部学生		106	137	220	230	35	54	160	107	107	113	24	16	1,309
			182	228	341	417	85	110	258	183	180	185	42	32	2,243
	大学院学生		18	23	20	14	10	8	18	16	19	25	9	10	190
			27	42	39	35	23	17	38	28	52	53	14	18	386
	教 職 員		27	23	19	18	11	16	29	20	22	30	11	9	235
			55	51	46	37	30	37	64	38	51	63	28	33	533
	そ の 他		58	40	44	59	19	38	53	40	53	53	33	49	539
			103	72	78	100	31	74	96	69	93	104	56	93	969
	計		209	223	303	321	75	116	260	183	201	221	77	84	2,273
			367	393	504	589	169	238	456	318	376	405	140	176	4,131
吹田みらいキャンパス図書館	学部学生		21	13	19	13	0	7	17	14	14	4	2	2	126
			29	23	31	19	0	12	29	19	19	8	2	2	193
	大学院学生		1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	6
			1	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	6
	教 職 員		2	2	2	5	2	6	5	5	7	6	2	2	46
			3	4	2	9	10	17	11	6	14	12	5	2	95
	そ の 他		4	9	4	6	2	6	11	15	13	8	8	10	96
			4	10	4	10	2	21	23	25	17	24	8	11	159
	計		28	25	25	24	4	19	34	34	34	20	13	14	274
			37	38	37	38	12	50	64	50	50	46	16	15	453

注1 館内閲覧・館外貸出ともに上段は利用者数、下段は利用冊数を示す。

注2 総合図書館の館内閲覧は、書庫図書の出納・取り寄せによる館内閲覧手続を行なったものを示す。

b 月別入庫検索者数（総合図書館）

利用区分		月												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合図書館	学部学生	386	523	572	462	132	262	542	556	578	253	39	45	4,350
	大学院学生	605	571	577	476	165	372	540	499	427	360	133	163	4,888
	教職員	469	388	410	409	195	325	332	342	315	279	206	240	3,910
	その他	34	37	33	37	35	34	39	44	31	36	27	44	431
	計	1,494	1,519	1,592	1,384	527	993	1,453	1,441	1,351	928	405	492	13,579

注1 入庫検索とは、図書館利用規程第13条による書庫図書の利用をいう。

注2 「その他」とは、特別の事由により入庫を許可された研究員等を示す。

c-1 グループ閲覧室の利用状況（総合図書館）

区分	月別												合計	月平均 (日・祝日を除く)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
利用コマ数	12	21	18	6	0	0	15	29	12	13	0	0	126	10.5
利用者数	188	270	236	51	0	0	182	201	116	41	0	0	1,285	107.1

注1 授業時間90分をコマ単位としている。

c-2 グループ閲覧室の利用目的（総合図書館）

申込件数	コマ数	実人数
授業目的	96	1,239
研究会利用	24	37
資料の閲覧	5	7
読書会	1	2
その他（落書き消しや撮影）	0	0
計	126	1,285

c-3 ラーニング・コモンズの利用状況（総合図書館）

ワーキング・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	162	257	288	514	27	83	232	246	211	313	31	45	2,409
利用者数	601	823	954	1,784	130	301	827	807	646	1,105	77	124	8,179
一日あたりの利用者数	23.1	34.3	38.2	66.1	8.1	12.0	30.6	36.7	29.4	55.3	4.8	5.6	30.1

ワークショップ・エリア利用状況

区分	月別												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用件数	28	29	18	8	1	0	18	10	4	4	0	0	120
利用者数	833	509	409	311	19	0	405	227	165	153	0	0	3,031

c-4 ラーニング・コモンズの利用目的（総合図書館）

ワーキング・エリア

利用目的	件数
グループ学習（授業・ゼミを含む）	839
自主学習	1,387
卒論・卒研・修論・博論準備	152
計	2,378

ワークショップ・エリア

利用目的	件数
授業・ゼミ	16
その他	19

d-1 Webによるサービスの利用状況

サービス種別	件数
蔵書検索	11,002,171
予約申込	10,066
相互利用申込	1,312
購入希望申込	1,853

注1 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。

d-2 Web機能の使用状況

Web機能	件数
予約資料到着連絡	11,231
複写物到着連絡	1,706
借用本到着連絡	4,658
相互利用謝絶連絡	9,454
購入希望謝絶連絡	132
返却督促連絡(翌日)	11,534
返却督促連絡(2週間後)	5,109

e 文献複写サービス

(単位：枚)

種別	区分	総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	吹田みらいキャンパス図書館	小計
		電子式複写	モノクロ	219,586	15,138	8,920	
	カラー	110	4,353	50	9	2,960	7,482
	マイクロ	302	0	0	0	0	302
	合計	219,998	19,491	8,970	2,878	8,330	259,667

注1 「モノクロ」はモノクロ複写とモノクロプリントアウトの合計枚数。

注2 「カラー」はカラー複写とカラープリントアウトの合計枚数。

f 図書館間相互利用件数

種別 月別	国内								国外								
	提供				依頼				提供				依頼				
	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	閲覧	貸出	複写	合計	閲覧	借用	複写	合計	
4月	18	48	125	191	4	23	81	108	0	0	0	0	0	0	0	1	1
5月	14	46	141	201	4	28	74	106	0	0	0	0	0	0	0	3	3
6月	17	46	160	223	6	34	89	129	0	0	1	1	0	0	0	2	2
7月	19	31	158	208	4	34	80	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	13	29	113	155	0	27	62	89	0	0	0	0	0	0	0	1	1
9月	20	38	185	243	4	42	78	124	0	0	0	0	1	0	0	2	3
10月	17	68	160	245	8	34	98	140	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11月	24	45	100	169	11	30	88	129	0	0	1	1	0	0	0	0	0
12月	14	57	134	205	9	40	135	184	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	28	35	94	157	3	38	136	177	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2月	21	26	89	136	3	24	99	126	0	1	0	1	0	0	0	2	2
3月	14	42	87	143	9	26	56	91	0	0	0	0	0	0	0	2	2
合計	219	511	1,546	2,276	65	380	1,076	1,521	0	1	2	3	1	0	0	15	16

注1 提供の貸出と複写、依頼の借用と複写の件数にはキャンセル件数を含む。

g 参考業務（総合図書館）

区 分	学 内 利 用 者				学 外 利 用 者			合 計	
	教職員	大学院学生	学部学生	その他	校 友	諸機関	その他		
調 査	所 蔵	21	6	5	1	3	1	1	38
	事 項	38	3	17	3	4	0	0	65
	そ の 他	3	0	0	0	0	0	0	3
	計	62	9	22	4	7	1	1	106

注1 総合図書館における申込書の提出により処理した件数。

注2 学内利用者中の「その他」には、学内他部署からの業務上の問い合わせのほか、科目等履修生、聴講生、留学生別科生を含む。

h 利用指導

種 別	区 分	総合図書館			高槻キャンパス 図書館			ミュージズ大学 図書館			堺キャンパス 図書館			吹田みらい キャンパス図書館		
		件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数	件数	クラス	人数
①	入門ガイダンス「蔵書検索を学ぼう」	102	90	1,858	9	9	184	10	10	277	1	1	7	4	0	396
②	活用ガイダンス 「文献のさがし方を学ぼう」	84	102	1,440	6	6	101	5	13	302	0	0	0	0	0	0
③	上位年次生のための入庫ガイダンス	188	188	1,529	1	1	12	2	2	21	0	0	0	0	0	0

注1 件数は実施回数、クラス数は参加したクラス数、人数は参加者延べ数である。

注2 ①②はクラス・ゼミ・研究室対象。

注3 ③は各図書館で実施した総合図書館地下書庫ガイダンスで、クラス単位と個人単位の総数。

i 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)	種 類	タイトル数 (端数が不明のものは概数)
ACS (American Chemical Society)	69	OUP (Oxford University Press)	267
APS (American Physical Society)	11	RSC (Royal Society of Chemistry)	47
beck-online (大学パッケージプレミアム版)	156	SAGE Journal Online (SAGE IMechE含む)	819
CUP (Cambridge University Press)	419	SpringerLink e-Journal	2,179
Elsevier ScienceDirect	1	Taylor & Francis Journals	1,996
Emerald Management eJournal Portfolio	213	Wiley Online Library	1,593
IEL Online (IEEE/IET Electronic Library)	508	日経 BP 記事検索サービス	26
JSTOR (Arts & Sciences I)	118	その他	9,978
		合 計	18,400

注1 「Elsevier ScienceDirect」は、2025年度にパッケージ契約を終了し、個別契約（1タイトル）と Pay Per View 方式（必要な論文を利用の都度、論文単位で課金される仕組み）による提供へ変更した。

j 過去5年間の文献・情報データベース検索回数

並び順は、原則として和洋ごとのアルファベット順、50音順とする。

	種 別	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	契約期間
1	CNKI (中国学術文献オンラインサービス)	7,176	7,122	5,671	11,449	13,693	2020年4月～
2	D1-Law.com_ 法律判例文献情報*	1,531	1,397	1,679	1,839	1,033	2006年4月～
3	DBpia (人文社会パッケージ)	2,905	2,725	3,397	3,183	1,959	2014年4月～
4	eol (有価証券報告書を含む企業情報データベース)	172,797	55,125	59,767	218,157	62,879	2006年4月～
5	JDream III (科学技術情報索引)	12,385	7,770	7,943	1,717	8,631	2004年～
6	KISS △	2,889	4,250	2,522	1,758	1,171	2008年8月～
7	LEX/DB インターネット (法律情報データベース)*	6,217	9,198	10,978	10,005	9,994	2003年4月～
8	MagazinePlus (和雑誌記事索引)	3,519	4,329	4,368	5,177	3,707	2003年～
9	Super 法令 web*	114	196	179	140	133	2011年7月～
10	朝日新聞クロスサーチ*	31,554	20,819	19,598	27,162	27,246	2006年10月～
11	医中誌 Web	2,528	990	740	771	592	2014年4月～
12	大宅壮一文庫雑誌記事索引 (Web OYA-bunko)*	—	—	—	236(4-12月)	208	2005年11月～2020年3月 2024年4月～

	種 別	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	契約期間
13	化学書資料館	—	—	—	32,902(4-12月)	29,503	2007年4月～2020年3月 2024年4月～
14	官報情報データベース▲	6	2(1-3月)	—	7(4-12月)	9	2006年4月～2022年3月 2024年4月～
15	教保文庫スカラー	206(4-12月)	827	1,043	308	297	2014年4月～2020年3月 2021年4月～
16	公的判例集データベース*	275	382	399	393	517	2011年7月～
17	ざっさくプラス 20世紀メディア情報データベース連携プラン	—	—	—	2,727(4-12月)	3,247	2024年4月～
18	産経新聞データベース*	3,558	3,350	2,666	1,942	2,660	2014年4月～
19	新・判例解説 Watch*	280	304	293	380	214	2011年7月～
20	ジャパンナレッジ Lib (百科事典データベース) △	122,387	196,256	242,117	208,624	373,532	2005年4月～
21	ジャパンナレッジ Lib (世界大百科事典) △	—	—	—	3,548(4-12月)	5,148	2024年4月～
22	ジャパンナレッジ Lib (大漢和辞典) △	—	—	—	4,958(4-12月)	6,329	2024年4月～
23	東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー△	59,694	47,114	41,345	37,953	87,449	2020年4月～
24	日経テレコン (日本経済新聞ビジネス情報データベース) ☆	1,549,821	1,518,273	1,397,288	1,319,505	1,212,010	2003年10月～
25	日経 NEEDS-Financial QUEST (地域統計) ★	5,900	2	25	27,485	8	2002年7月～
26	日本文学 Web 図書館 (和歌・連歌・俳諧ライブラリー) *	—	—	—	1,154(4-12月)	1,026	2013年4月～2020年3月 2024年4月～
27	日本文学 Web 図書館 (平安文学ライブラリー、辞典ライブラリー) *	—	—	—	499(4-12月)	457	2024年4月～
28	法律文献総合 INDEX *	264	245	212	183	181	2011年7月～
29	毎索 (毎日新聞記事索引)	7,169	7,988	8,054	9,027	7,771	2005年4月～
30	山一証券株式会社第一期・オンライン版△	17	9(1-3月)	—	—	—	2014年4月～2022年3月
31	ヨミダス (読売新聞記事索引)	27,509	33,728	31,347	24,334	20,105	2005年4月～
32	beck-online : プレミアム版 (ドイツ法情報データベース)	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2007年4月～
33	Business Source Complete-EBSCOhost (ビジネス関連データベース)	5,610	2,141	5,394	5,669	8,100	2012年2月～
34	Chatham House Online Archive, Part 1: 1920-1979 (英国王立国際問題研究所) △	—	—	70(2-12月)	—	3	2014年4月～2020年3月、 2023年2月～
35	Le Doctrinal	—	45(7-12月)	344	582	36	2020年4月～
36	eBook Collection-EBSCOhost	4,012	1,504	4,492	4,429	1,449	2011年7月～
37	EconLit with Full Text-EBSCOhost	4,130	1,234	4,516(5-12月)	4,660	2,304	2012年2月～
38	The Economist Historical Archive 1843-2015	—	—	29(2-12月)	64	34	2012年7月～2020年3月、 2023年2月～
39	Factiva.com △	5,847	—	718(5-12月)	3,151	7	2013年4月～
40	Hein Online	540	511	408	440	941	2012年～
41	ICPSR★	1,064	1,042	212	2,736	2,853	2005年4月～
42	The Illustrated London News Historical Archive 1842-2003 △	—	—	22(2-12月)	21	26	2013年4月～2020年3月、 2023年2月～
43	Journal Citation Reports	471	574	355	559(1-11月)	473	2010年4月～
44	JURIS Online (ドイツ法律情報データベース) ★	1,924	1,740	1,824	4,100	2,772	2004年10月～
45	LearnTechLib	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	計数されていない	2015年～
46	Lexis + (法情報索引)	2,925	1,621	1,734	1,052	2,075	2003年～
47	Lexis360 Intelligence	301	399	241	300	—	2020年4月～
48	MathSciNet (数学文献データベース)	—	26,084(4-12月)	22,601	4,425	4,334	2006年11月～2019年12月 2022年4月～
49	National Geographic Virtual Library △	283	193	641	198	87	2020年4月～
50	Nineteenth Century U.S. Newspapers △	—	—	19(2-12月)	120	44	2014年4月～2020年3月、 2023年2月～
51	ProQuest Basic Search (専門分野型データベース)	4,115	2,755	2,538	2,566	31,117	2003年11月～
52	ProQuest Historical Newspapers: Chinese Newspapers Collection, 1832-1953	3,660	2,467	2,162	2,325	1,956	2020年4月～
53	PsycARTICLES-EBSCOhost (心理学文献データベース)	2,037	2,547	1,890	1,371	1,157	2014年4月～

	種 別	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	契約期間
54	PsycINFO-EBSCOhost (心理学雑誌記事・文献索引)	1,841(4-12月)	2,528	1,822	1,412	1,779	2006年4月～2020年3月 2021年4月～
55	Regional Business News-EBSCOhost (地域ビジネス関連データベース)	3,586	1,095	4,193	4,241	1,627	2012年2月～
56	CAS SciFinder Discovery Platform for Academics	63,522	72,184	68,529	70,501	49,015	2003年～
57	The Times Digital Archive 1785-2019 △	—	—	425(2-12月)	14,291	480	2012年7月～2020年3月、 2023年2月～
58	Translation Studies Bibliography*	—	—	—	144(4-12月)	354	2012年4月～2019年3月、 2024年4月～
59	Wall Street Journal*	192	119	46	28	38	2020年4月～
60	Web of Science (引用・被引用論文索引)	52,814	53,492	51,076	47,010	42,441	2001年8月～
61	Westlaw Next (法情報索引)	5,923	2,829	2,623	6,756	3,274	2003年～
62	経業デジタルライブラリ「週刊ダイヤモンド」デジタルアーカイブズ	3	49	21	23	18	2017年8月～
63	Business Archives Online (企業史料統合データベース)〈J-DAC〉	65	18	65	46	43	2013年4月～
64	全国商工会議所関係資料〈J-DAC〉	9	164	11	0	9	2018年12月～
65	通産政策史資料〈J-DAC〉	50	8	1	99	8	2015年1月～
66	都市問題と地方自治〈J-DAC〉	17	2	0	0	1	2019年12月～
67	スポーツ産業史データベース〈J-DAC〉	1	3	3	0	0	2018年10月～
68	地方自治関係資料〈J-DAC〉	16	0	0	0	1	2017年11月～
69	近現代史料データベース〈J-DAC〉	86	133	162	421	178	2016年12月～
70	近代文学作家自筆資料集〈J-DAC〉	3	3	7	9	21	2020年10月～
71	社会文化史データベース〈J-DAC〉	—	—	20(5-12月)	8	1	2023年5月～
72	鎌倉遺文 I 〈JKBooks〉△	974	882	338	145	337	2019年8月～
73	鎌倉遺文 II 〈JKBooks〉△	425	451	420	255	443	2020年1月～
74	群書類従(正・続・続々)〈JKBooks〉△	848	469	10,197	5,749	6,433	2018年4月～
75	国史体系 新訂増補〈JKBooks〉△	—	—	763(11-12月)	3,992	4,703	2023年11月～
76	史料纂集 第1期 古記録編 平安・鎌倉・南北朝〈JKBooks〉△	—	—	2,430(2-12月)	991	1,406	2023年2月～
77	史料纂集 第2期 古記録編 室町・戦国1～3〈JKBooks〉△	—	—	—	578	503	2024年1月～
78	史料纂集 第3期 古記録編 室町・戦国4～7〈JKBooks〉△	—	—	—	—	96(7-12月)	2025年7月～
79	天皇皇族実録 第1期 Vol.1 神武天皇～Vol.49 安徳天皇〈JKBooks〉△	—	—	1229(2-12月)	328	561	2023年2月～
80	天皇皇族実録 第2期 後鳥羽天皇～後奈良天皇〈JKBooks〉△	—	—	—	395	181	2024年1月～
81	天皇皇族実録 第3期 Vol.99 正親町天皇～Vol.135 補巻 孝明天皇〈JKBooks〉△	—	—	—	23(11-12月)	85	2024年11月～
82	東洋経済新報/週刊東洋経済 デジタルアーカイブズ 第1期 [大正期]〈JKBooks〉△	4	7	97	35	55	2018年4月～
83	平安遺文〈JKBooks〉△	—	—	5(11-12月)	269	180	2023年11月～
84	18th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	0	2	0	0	0	2013年4月～
85	19th & 20th Century House of Commons, Parliamentary Papers★	96	13	54	136	13	2009年～
86	Archives Unbound D.W. Griffith's Birth of a Nation	—	—	—	12	60	2024年1月～
87	Archives Unbound FBI File: Hollywood and J. Edgar Hoover Investigations of Actors and Directors	—	—	—	12	58	2024年1月～
88	Archives Unbound Hollywood, Censorship, and the Motion Picture Production Code, 1927-1968	—	—	—	6(12月)	61	2024年12月～
89	Cold War Voices of Confrontation and Conciliation	65	13	81	10	58	2018年11月～
90	The Economist Historical Archive, 1843-2015 Supplement 2016-2020	—	—	—	85	34	2024年1月～
91	Eighteenth Century Collections Online (ECCO1&2) ★	4	23	14	15	18	2013年4月～
92	Encyclopaedia of Islam Online (2ndEdition and 3rdEdition)	—	—	—	82(11-12月)	565	2024年11月～
93	Financial Times Historical Archive 1888-2016	—	34(2-12月)	138	35	3	2012年4月～2015年3月 2022年2月～
94	The Japan Times Archives	282	248	146	297	561	2015年4月～
95	Japan-U.S. Economic Relations Group Records, 1979-1981	65	14	83	12	59	2018年7月～
96	Journal of Fluid Mechanics Digital Archive 1956-1996 ★	59	89	64	72	501	2020年2月～
97	Archives of Sexuality and Gender : LGBTQ History and Culture Since 1940, Part I	—	9(2-12月)	154	3	6	2022年2月～
98	Archives of Sexuality and Gender : LGBTQ History and Culture Since 1940, Part II	—	—	154	3	6	2023年1月～

	種 別	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	契約期間
99	The Making of the Modern World,PART I & II (MOMW I & II) ★	24	13	10	12	0	2013年4月～
100	The Making of the Modern World, Part III (MOMW III) ★	46	9	103	13(1-5月) 3(6-12月)	1	2020年1月～
101	State Papers Online Colonial:Asia, Part I: Far East, Hong Kong, and Wei-Hai-Wei	—	—	62	1	6	2023年1月～
102	Environmental Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	68	2	2024年1月～
103	Social Security (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	39	0	2024年1月～
104	Insurance Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	28	3	2024年1月～
105	Criminal Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	12(8-12月)	2	2024年8月～
106	Private International Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	18(8-12月)	0	2024年8月～
107	Transport Law (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	12(8-12月)	0	2024年8月～
108	Civil Procedure (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	13(6-12月)	2025年6月～
109	Corporations and Partnerships (International Encyclopedia of Law) ☆	—	—	—	—	7(6-12月)	2025年6月～

注1 統計算出方法について

- (1) 各統計は、1月～12月までの検索回数の合計である。
- (2) 本表は国際標準「COUNTER」に基づき集計しており、2024年に統計基準が「COUNTER 4」から「COUNTER 5」へ移行した。2024年以降の値は原則としてCOUNTER 5に基づき取得しているため、2023年以前の統計値と単純に比較はできない。ただし、提供元の仕様等によりCOUNTERに準拠した統計が取得できないデータベースについては、提供機関が独自の基準で算出した値を用いている。
- (3) *はログイン回数、☆は結果表示件数、★はダウンロード件数、△はページビュー数、▲は利用申込者数を示す。
- (4) 表中の「—」は、当該年度が利用（統計計上）開始前または利用提供終了（提供方法変更）後であること、または別の統計に含まれていること、取得不可のものを示す。
- (5) 2021年、2022年の統計値について、新型コロナウイルス感染症拡大に対する授業支援として、オンライン授業において必要な新聞データベース等の同時アクセス数が追加されたため、大幅に検索回数等が増えているものがある。該当タイトルについては、以下のとおり。日経テレコン（20→50）、朝日新聞クロスサーチ（4→5）、ヨミダス歴史館（2→5）、毎索（2→5）、産経新聞データベース（2→4）、ジャパンナレッジ Lib（4→無制限）。

注2 各データベースに係る注記

- 1 図書館及び法学研究所で契約している分野の利用状況。
- 4 図書館及び会計研究科での利用状況。
- 10 2022年9月より、聞蔵Ⅱから朝日新聞クロスサーチへ名称変更されたことに伴い、2022年分については新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 20 2020年度よりプラットフォーム「ジャパンナレッジ Lib」の同時アクセス数が新たに2アクセス追加され同時アクセス数が合計4に、2021年度より同時アクセス数無制限となっている。また、2023年1月よりプラットフォームを統合したため、72-76・79・82・83の買い切り資料を除いた数値を統計値としている。2024年4月より21・22が新規契約となり、この2タイトルと72-83の買い切り資料を除いた数値を統計値としている。
- 30 2021年度は統計値は、システム改修に伴いログイン数を計数している。
- 31 2024年4月より、ヨミダス歴史館からヨミダスへ名称変更した。
- 34 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 35 2021年度に統計データ提供元が変更となったが、旧提供元でデータのバックアップがとれておらず、2021年度は利用統計の提供が不可となった。2022年よりDoctrinal PlusからLe Doctrinalへ名称変更され、2022年1月～6月の利用統計値は、提供元の都合により取得不可となった。また、取得方法が変更となり、検索回数からページビューへ変更することとした。2023年より提供元が変更となり、統計値を文書閲覧数から検索実行回数へ変更することとした。
- 37 2022年統計値は、出版社の統計システムの不具合発生により一部取得不可となった。2023年1月～4月の統計値は、出版社の統計システムの不具合のため取得不可となった。
- 39 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 40 World Constitutions Illustrated, U.S.Federal Agency Documents, Decisions, and Appeals, History of International Law, HeinOnline ABAを含む。
- 42 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 44 統計値には、文書取出件数（文書〈全文・要約・抄録等〉の閲覧件数）を計上している。
- 46 2024年4月よりLexisからLexis+に名称変更した。
- 47 2023年1月よりLexis360からLexis360 Intelligenceへ名称変更した。
- 50 2022年度買い切り資料として復活。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 51 ERIC, LISA（2020年3月まで）、LLBA（2020年3月まで）、Worldwide Political Science Abstracts（2020年3月まで）、Sociological Abstracts, PTSDpubs, Social Services Abstracts, Entertainment Industry Magazine Archive（2020年3月まで）が含まれる。また、2014年4月よりProQuest Dissertations & Theses Global（2020年3月まで、2023年12月）、ProQuest Historical Annual Reportsが含まれる。
- 56 2021年1月より検索数が提供されることになった。ただし、バージョンアップに伴い過去の数値と単純比較はできない（版元情報）。2024年4月よりCAS SciFinder[®]からCAS SciFinder Discovery Platform for Academicsに名称変更した。
- 57 2022年度買い切り資料として復活。契約範囲を1785-1985から1785-2019に変更した。プラットフォーム変更に伴い、2023年2月からの計数を検索回数からページビュー数へ変更することとした。
- 59 版元側の都合により検索回数が取得不可となったため、2023年より取得方法を検索回数からログイン回数へ変更することとした。
- 60 2021年7月7日のインターフェース変更に伴い、2021年分については新旧バージョンの合算統計値を計数している。
- 72・73 ジャパンナレッジ Libのプラットフォームを使用しているが、ページビュー数であれば個別の統計値が取得できるため、2019年より計数方法を変更し個別に掲載する。
- 74・82 2023年4月よりプラットフォームを統合したため、2023年1月～3月の数値は、各プラットフォームの合算統計値を計数している。
- 78 2025年度に買い切り資料として購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。
- 92 2nd Edition Glossary and Index of Terms, Historical Atlas of Islamが含まれる。
- 94 2019年以降の統計は、「幕末期」を含む。
- 100 2024年6月からプラットフォーム変更に伴い、取得方法を検索回数からダウンロード回数へ変更することとした。
- 108・109 2025年度に加除式DBとして購入したタイトルについて、新たに統計対象とする。

k 過去5年間のリポジトリ登録件数・アクセス数・ダウンロード数の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
登録件数(累計)	22,173	24,025	24,782	26,057	27,266
アクセス数	584,620	506,628	899,374	1,370,971	1,473,353
ダウンロード数	1,370,391	1,550,695	1,748,887	2,466,654	2,877,869

注1 2023年度にリポジトリのシステムがリニューアルされたことに伴い、過去の数値と単純比較はできない。
 注2 登録件数(累計)は、2023年度より学術機関リポジトリデータベース(IRDB)のデータを使用している。
 注3 アクセス数は学術リポジトリサイトの書誌情報閲覧数である。
 注4 ダウンロード数には外部サイトからの直接アクセスを含む。

1 過去5年間の資料電子化の推移

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
内容	賀茂翁家集他 118点	酒神餅神鬼殺心角樽他 180点	玉くしけ他 154点	広輿考他 1点	古今和歌集伝聞書
画像数	10,182	15,280	13,863	3,167	1

注1 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築事業(国文学研究資料館)による撮影は2023年度で終了。

m キャンパス間相互利用件数(予約取寄せ)

		提供冊数(受付館)					合計
		総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	吹田みらいキャンパス図書館	
受入冊数 (依頼館)	総合図書館		960	757	1,329	134	3,180
	高槻キャンパス図書館	783		39	70	19	911
	ミューズ大学図書館	1,012	127		101	9	1,249
	堺キャンパス図書館	579	53	44		3	679
	吹田みらいキャンパス図書館	183	12	12	38		245
	合計	2,557	1,152	852	1,538	165	6,264

n 利用者用パソコン設置台数

総合図書館	高槻キャンパス図書館	ミューズ大学図書館	堺キャンパス図書館	吹田みらいキャンパス図書館	合計
53	7	9	9	2	80

(3) 蔵書に関する統計

① 収書状況

a 図書資料の所蔵数（2025年度末現在）

区 分	種 別		図書の冊数（冊）		定期刊行物の種類数		視聴覚資料 の所蔵数 （点数）	電子ジャー ナルの種類 （点数）	電子書籍 （点数）
	図書の冊数	開架図書の 冊数（内数）	内国書	外国書					
総合図書館	2,257,430	236,327	15,246 (1378)	8,841 (473)	125,245	18,400	14,180		
高槻キャンパス図書館	65,605	65,605	274 (125)	246 (33)	530	—	—		
ミューズ大学図書館	53,791	53,791	413 (138)	73 (9)	293	—	—		
堺キャンパス図書館	58,392	58,392	194 (127)	46 (21)	295	—	—		
吹田みらいキャンパス図書館	1,745	1,745	37 (37)	6 (6)	0	—	—		
法学部資料室	34,079	34,079	1031 (321)	50 (10)	88	1	0		
経商資料室	34,218	34,218	599 (317)	227 (20)	491	1	0		
社会学部資料室	31,449	31,449	1214 (215)	48 (6)	502	0	0		
法科大学院ロー・ライブラリー	12,056	12,056	68 (68)	0 (0)	0	0	0		
会計専門職大学院図書資料室	1,166	1,166	7 (7)	0 (0)	0	0	0		
東西学術研究所	21,411	0	325 (23)	123 (5)	121	0	1		
経済・政治研究所	20,217	0	51 (48)	1 (1)	0	0	0		
法学研究所	16,001	0	36 (36)	0 (0)	0	1	0		
人権問題研究室	25,948	22,567	56 (56)	0 (0)	186	0	0		
計	2,633,508	551,395	19,551 (2,896)	9,661 (584)	127,751	18,403	14,181		

注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。

注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。下段（ ）は内数で、継続して受け入れている種類数。

注4 総合図書館と各キャンパス図書館の電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。

b 過去5年間の図書の受入数

(単位：冊)

館名	年度				
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総合図書館	19,828	18,007	19,173	18,279	20,428
高槻キャンパス図書館	1,442	1,452	1,375	1,965	1,880
ミューズ大学図書館	1,351	1,303	1,269	1,816	1,613
堺キャンパス図書館	1,631	1,598	1,727	2,017	2,039
吹田みらいキャンパス図書館	—	—	—	1,492	253
計	24,252	22,360	23,544	25,569	26,213

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。

c 図書資料異動状況

(単位：点)

種別 区分	和書	洋書	マイクロ資料		その他	合計	
			フィルム	フィッシュ			
取得 内訳	購入	20,671	1,892	36	0	45	22,644
	受贈	643	16	0	0	0	659
	その他	1,626	959	72	0	0	2,657
	合計	22,940	2,867	108	0	45	25,960
除籍抹消	10,746	174	0	0	0	0	10,920
増減計	12,194	2,693	108	0	45	0	15,040
期末在高	1,469,925	835,396	97,078	24,168	8,651	0	2,435,218

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「種別」の「その他」はAV資料、CD-ROM、DVD-ROM等の資料を含む。

注3 吹田みらいキャンパス図書館の資料は含まない。

d 雑誌・新聞受入種類数

種別 区分	雑誌・新聞			
	和	洋	合計	
取得 内訳	購入	1,157	501	1,658
	受贈	576	20	596
	その他	72	21	93
	合計	1,805	542	2,347

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

② 分類別所蔵図書冊数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
0	総記	17,578	12,341	29,919
10	図書館, 図書館情報学	7,365	4,703	12,068
20	図書, 書誌学	18,429	14,698	33,127
30	百科事典, 用語索引	3,584	3,982	7,566
40	一般論文集, 一般講演集, 雑著	19,036	1,596	20,632
50	逐次刊行物, 一般年鑑	24,401	8,202	32,603
60	団体, 博物館	1,448	489	1,937
70	ジャーナリズム, 新聞	18,578	7,623	26,201
80	叢書, 全集, 選集	57,810	18,022	75,832
90	貴重書, 郷土資料, その他の特別コレクション	1,259	2,339	3,598
	総記・計	169,488	73,995	243,483
100	哲学	4,412	5,694	10,106
110	哲学各論	2,774	4,020	6,794
120	東洋思想	20,396	788	21,184
130	西洋哲学	8,576	20,661	29,237
140	心理学	14,640	16,175	30,815
150	倫理学, 道徳	4,365	1,538	5,903
160	宗教	6,394	4,482	10,876
170	神道	2,761	59	2,820
180	仏教	16,995	1,935	18,930
190	キリスト教, ユダヤ教	6,744	9,133	15,877
	哲学・計	88,057	64,485	152,542
200	歴史, 世界史, 文化史	7,365	10,887	18,252
210	日本史	55,898	1,238	57,136
220	アジア史, 東洋史	36,896	5,386	42,282
230	ヨーロッパ史, 西洋史	5,836	18,045	23,881
240	アフリカ史	335	1,623	1,958
250	北アメリカ史	842	2,844	3,686
260	南アメリカ史	96	98	194
270	オセアニア史, 両極地方史	102	169	271
280	伝記	23,851	7,188	31,039
290	地理, 地誌, 紀行	30,988	6,803	37,791
	歴史・計	162,209	54,281	216,490
300	社会科学	14,523	8,313	22,836
310	政治	45,631	49,952	95,583
320	法律	66,154	92,363	158,517
330	経済	93,784	96,512	190,296
340	財政	8,352	7,045	15,397
350	統計	9,566	5,924	15,490
360	社会	68,221	53,992	122,213
370	教育	52,640	14,099	66,739
380	風俗習慣, 民俗学, 民族学	18,966	4,573	23,539
390	国防, 軍事	4,435	1,513	5,948
	社会科学・計	382,272	334,286	716,558
400	自然科学	8,174	8,961	17,135
410	数学	11,026	15,221	26,247
420	物理学	6,026	15,403	21,429
430	化学	6,302	13,177	19,479
440	天文学, 宇宙科学	2,556	1,041	3,597
450	地球科学, 地学	7,759	4,312	12,071
460	生物科学, 一般生物学	6,702	8,706	15,408
470	植物学	1,347	236	1,583
480	動物学	2,688	497	3,185
490	医学, 薬学	26,995	11,053	38,048
	自然科学・計	79,575	78,607	158,182
500	技術, 工学	16,434	22,242	38,676
510	建設工学, 土木工学	20,114	12,638	32,752
520	建築学	16,508	6,332	22,840
530	機械工学, 原子力工学	10,710	9,054	19,764
540	電気工学	23,927	16,285	40,212
550	海洋工学, 船舶工学, 兵器, 軍事工学	1,580	383	1,963
560	金属工学, 鉱山工学	5,995	6,354	12,349
570	化学工業	7,247	7,039	14,286
580	製造工業	4,837	1,513	6,350
590	家政学, 生活科学	2,010	424	2,434
	技術・計	109,362	82,264	191,626
600	産業	5,662	418	6,080
610	農業	13,041	4,407	17,448

分類	内 訳	和	洋	合 計
620	園芸, 造園	1,312	224	1,536
630	蚕糸業	240	1	241
640	畜産業, 獣医学	1,060	152	1,212
650	林業, 狩猟	1,546	246	1,792
660	水産業	1,861	286	2,147
670	商業	17,696	14,841	32,537
680	運輸, 交通, 観光事業	10,323	7,334	17,657
690	通信事業	3,526	2,407	5,933
	産業・計	56,267	30,316	86,583
700	芸術, 美術	14,981	6,754	21,735
710	彫刻, オブジェ	1,070	302	1,372
720	絵画, 書, 書道	18,686	4,066	22,752
730	版画, 印章, 篆刻, 印譜	950	373	1,323
740	写真, 印刷	2,111	523	2,634
750	工芸	4,460	1,400	5,860
760	音楽, 舞踏, バレエ	7,124	1,744	8,868
770	演劇, 映画, 大衆芸能	16,692	4,111	20,803
780	スポーツ, 体育	10,986	3,232	14,218
790	諸芸, 娯楽	2,055	246	2,301
	芸術・計	79,115	22,751	101,866
800	言語	5,389	16,644	22,033
810	日本語	11,748	315	12,063
820	中国語, その他の東洋諸言語	11,699	1,179	12,878
830	英語	7,251	11,711	18,962
840	ドイツ語, その他のゲルマン諸語	1,077	4,526	5,603
850	フランス語, プロバンス語	1,078	3,166	4,244
860	スペイン語, ポルトガル語	476	578	1,054
870	イタリア語, その他のロマンス諸語	138	409	547
880	ロシア語, その他のスラブ諸語	403	1,356	1,759
890	その他の諸言語	444	992	1,436
	言語・計	39,703	40,876	80,579
900	文学	13,042	11,210	24,252
910	日本文学	104,335	1,710	106,045
920	中国文学, その他の東洋文学	32,643	823	33,466
930	英米文学	9,076	26,348	35,424
940	ドイツ文学, その他のゲルマン文学	3,575	13,612	17,187
950	フランス文学, プロバンス文学	4,788	12,731	17,519
960	スペイン文学, ポルトガル文学	1,634	10,952	12,586
970	イタリア文学, その他のロマンス文学	529	574	1,103
980	ロシア・ソビエト文学, その他のスラブ文学	1,939	3,209	5,148
990	その他の諸言語文学	559	1,554	2,113
	文学・計	172,120	82,723	254,843
	合 計	1,338,168	864,584	2,202,752
	その他			232,466
	図書館蔵書数			2,435,218

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。

注3 「その他」は、個人文庫などの未分類図書を表す。

注4 分類名称は新訂10版による。

③ 分類別所蔵雑誌種類数（日本十進分類法による）

分類	内 訳	和	洋	合 計
0	総 記	4,810	985	5,795
100	哲 学	494	527	1,021
200	歴 史	857	339	1,196
300	社 会 学	4,053	3,551	7,604
400	自 然 学	758	935	1,693
500	技 術	1,739	1,628	3,367
600	産 業	685	361	1,046
700	芸 術	841	170	1,011
800	言 語	264	267	531
900	文 学	1,653	448	2,101
	そ の 他	10	1	11
	合計	16,164	9,212	25,376

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 2014年度にミューズ大学図書館および堺キャンパス図書館から移管を受けた資料を含む。

注3 重複するタイトルは、カウントしていない。

④ 分類別冊数と分類別冊数の全体に占める割合

a 分類別冊数

年度 分類	館名	2025年度				
		総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館	吹田みらいキャンパス 図書館
000 総記		225,281	13,101	3,290	1,416	395
100 哲学		140,187	3,739	2,763	5,758	95
200 歴史		207,554	2,751	2,774	3,345	66
300 社会科学		655,761	20,061	19,243	20,961	532
400 自然科学		136,946	5,734	8,709	6,471	322
500 技術		176,495	5,985	7,916	1,126	104
600 産業		80,320	2,730	2,673	812	48
700 芸術		88,531	3,029	1,047	9,228	31
800 言語		70,351	5,445	2,329	2,391	63
900 文学		241,730	3,093	3,047	6,884	89
その他		232,466	0	0	0	0
合計		2,255,622	65,668	53,791	58,392	1,745

注1 総合図書館の蔵書のうち「その他」は、貴重書や特別コレクション・書状など十進分類法になじまないもの。

b 分類別冊数の全体に占める割合

年度 分類	館名	2025年度				
		総合図書館	高槻キャンパス 図書館	ミューズ大学 図書館	堺キャンパス 図書館	吹田みらいキャンパス 図書館
000 総記		10%	20%	6%	2%	23%
100 哲学		6%	6%	5%	10%	5%
200 歴史		9%	4%	5%	6%	4%
300 社会科学		29%	30%	36%	36%	30%
400 自然科学		6%	9%	16%	11%	18%
500 技術		8%	9%	15%	2%	6%
600 産業		4%	4%	5%	1%	3%
700 芸術		4%	5%	2%	16%	2%
800 言語		3%	8%	4%	4%	4%
900 文学		11%	5%	6%	12%	5%
その他		10%	0%	0%	0%	0%
合計		100%	100%	100%	100%	100%

⑤ 過去5年間の図書館資料費執行額

(単位：円)

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
図書	和	83,168,360	87,744,327	91,547,599	92,959,172	97,499,255
	洋	71,686,744	40,634,295	48,130,125	55,937,158	58,609,213
雑誌	和	26,583,086	26,667,388	25,837,828	24,872,228	22,965,660
	洋	358,823,377	367,965,670	412,373,924	458,855,817	430,720,837
電子媒体		1,482,679	1,242,186	1,514,194	119,328	61,347
マイクロ資料	和	5,045,792	4,932,492	3,625,692	721,692	1,602,792
	洋	1,188,000	0	0	0	0
その他の資料		30,534,334	58,552,582	48,288,275	41,336,598	32,384,905
外部データベース		77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395	116,708,437
合計		655,898,339	661,962,191	708,059,336	786,495,388	760,552,446
製本費		7,983,668	6,011,665	5,905,196	6,992,590	5,935,380

注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。

注3 「電子媒体」にはCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注4 「その他の資料」には、追録、電子書籍、AV資料を含む。

注5 2024年度の吹田みらいキャンパス図書館の図書館資料費執行額9,350,912円、2025年度の吹田みらいキャンパス図書館の図書館資料費執行額9,850,569円。

⑥ 過去5年間の電子資料に係る経費執行額

(単位：円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
電子ジャーナル経費執行額	288,089,970	297,815,838	323,024,508	372,617,090	345,607,543
データベース経費執行額	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395	116,708,437
電子書籍経費執行額	21,925,571	43,099,135	20,785,626	25,506,015	18,357,636
合 計	387,401,508	415,138,224	420,551,833	509,816,500	480,673,616

注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。

注2 2024年度の吹田みらいキャンパス図書館の電子書籍経費執行額3,958,337円、2025年度の吹田みらいキャンパス図書館の電子書籍経費執行額8,062,153円。

(4) その他関連統計等

a 過去5年間の図書館職員

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
専任職員 〔人数〕	20	22	20	21	21
定時職員 〔総勤務時間〕	12,700	12,700	11,420	11,420	8,945
備 考	収書担当業務に3名、システム担当業務に1名、庶務担当業務に1名計5名の「派遣職員」を雇用。	収書担当業務に3名、庶務担当業務に1名計4名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に5名、庶務担当業務に1名計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に5名、庶務担当業務に1名計6名の「派遣職員」を採用。	収書担当業務に5名、サービス担当業務に1名計6名の「派遣職員」を採用。

注1 定時職員は各人の勤務時間数が異なり、人数での比較が困難なため総予算時間数を記載した。

注2 4月1日現在の職員数を示す。

b 学生の閲覧座席数（2026年4月1日現在）

館名	学生閲覧室 座席数(A)	学生収容定員 (B)	収容定員に対す る座席数の割合 $A/B*100$ (%)	その他の学習 室の座席数	備 考 【学生収容定員内訳】
総合図書館	2,052	23,794	8.62	—	(千里山キャンパス) ① 学部 21,948名 ② 大学院 1,846名
高槻キャンパス図書館	235	2,214	10.61	—	(高槻キャンパス) ① 学部 2,090名 ② 大学院 124名
ミュージズ大学図書館	134	1,145	11.7	—	(高槻ミュージズキャンパス) ① 学部 1,100名 ② 大学院 45名
堺キャンパス図書館	272	1,352	20.12	—	(堺キャンパス) ① 学部 1,320名 ② 大学院 32名
吹田みらいキャンパス図書館	6	1,400	0.43	—	(吹田みらいキャンパス) ① 学部 1,400名
計	2,699	29,905	9.02	—	① 学部 27,858名 ② 大学院 2,047名

c 10年間の展示会テーマと会期

年 度	展示のテーマと講演会の演題	会 期
2016年度	EUi 企画 日・EU フレンドシップウィーク展示 「ヨーロッパのカフェと文学」	2016年5月12日(木)～5月26日(木)
2017年度	実施せず	
2018年度	記念展示 「石濱純太郎とその学問・人脈」展	2018年10月22日(月)～11月17日(土)
2019年度	特別展示 新元号「令和」の出典である『万葉集』	2019年4月4日(木)～4月24日(水)
	特別展示 新元号「令和」ゆかりの資料 ～『万葉集』『文選』『和漢朗詠集』を中心に～	2019年5月12日(日)～6月30日(日)
	企画展示 平成 —11,070days—	2019年5月12日(日)～8月2日(金) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 企画展「わたしたちは世界を変えられる」	2019年9月21日(土)～2020年1月30日(木) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
2020年度	企画展示 SDGs パネル展「パートナーシップでつくる私たちの世界」	2019年11月16日(土)～12月6日(金)
	企画展示 企画展 「知りたい！」が未来をつくる「知りたい！」で世界をひろげる 「科学道100冊」	2020年3月25日(水)～2020年7月22日(水) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 企画展 「わたしたちは世界を変えられる Sustainable Development Goals」	2020年4月1日(水)～2021年3月22日(金) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
2021年度	企画展示 企画展「向きあう、広がる、新学期」	2020年9月21日(月)～2021年1月30日(土) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 企画展「日日は好日 365日、今日を生きよう」	2021年4月1日(水)～2021年7月31日(土) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 小展示「SDGs 教員推薦図書」	2021年6月1日(火)～2021年8月31日(火) 2021年12月1日(水)～2022年2月28日(月) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2021年9月18日(土)～11月14日(日) (於：総合図書館1階北側入口スペース・2階開架カウンター前)
	企画展示 小展示「地球をゴミ箱にはいけない」	2021年10月9日(土)～2021年11月30日(火) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 企画展「考える。大阪・関西万博×SDGs」	第一期「大阪の課題」 2021年10月9日(土)～11月30日(火) 第二期「大阪の強み」 2021年12月1日(水)～2022年1月31日(月) (於：総合図書館2階開架カウンター前)
	企画展示 高槻キャンパス図書館 企画展 コミュニケーション力を磨こう！	2021年4月～6月
	企画展示 高槻キャンパス図書館 企画展 手軽にアクセス！電子書籍	2021年7月～9月
	企画展示 高槻キャンパス図書館 企画展 科学にまつわるエトセトラ	2021年10月～12月
	企画展示 高槻キャンパス図書館 企画展 心と体を整える	2022年1月～3月
	企画展示 ミューズ大学図書館 企画展 読書旅	2021年4月～6月
	企画展示 ミューズ大学図書館 企画展 水の災厄	2021年7月～9月
	企画展示 ミューズ大学図書館 企画展 テロの脅威	2021年10月～12月
	企画展示 ミューズ大学図書館 企画展 ライフスタイルの多様化 —さまざまな住居・さまざまな家族—	2022年1月～3月
	企画展示 堺キャンパス図書館 企画展 原作を読んでみよう!! —映画編—	2021年4月～6月
企画展示 堺キャンパス図書館 企画展 Enjoy Training!!	2021年7月～9月	
企画展示 堺キャンパス図書館 企画展 ダイバーシティ & インクルージョン	2021年10月～12月	
企画展示 堺キャンパス図書館 企画展 ココロとカラダの不思議	2022年1月～3月	

年 度		展示のテーマと講演会の演題	会 期		
2022 年度	企画展示	小展示「想像からはじめる SDGs」	2022年4月1日(金)～2022年6月30日(木) (於：総合図書館2階開架カウンター前)		
		全館巡回企画展 スタッフが薦める「今のあなた」に読んでほしい本！	2022年4月5日(火)～2023年1月31日(火) (於：総合図書館2階開架・高槻キャンパス図書館・ミューズ大学図書館・堺キャンパス図書館)		
		すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示	2022年9月27日(火)～11月30日(水) (於：総合図書館2階開架カウンター前)		
		SDGs 教員推薦図書の展示	2022年10月1日(土)～2023年1月31日(火) (於：総合図書館2階開架カウンター前)		
		吹田市下水道部パネル展示「知ってますか？下水道」	2022年11月21日(月)～12月5日(月) (於：総合図書館2階開架カウンター前)		
		小展示「SDGs めがね」	2022年12月12日(月)～2023年1月31日(火) (於：総合図書館2階開架カウンター前)		
		高槻キャンパス図書館 企画展 百年史～関西大学と文学のあゆみ～	2022年4月～6月		
		高槻キャンパス図書館 企画展 聞く・話す・伝える	2022年7月～9月		
		高槻キャンパス図書館 企画展 メディアが繋ぐ情報	2023年1月～3月		
		ミューズ大学図書館 企画展 世界へ！	2022年4月～6月		
		ミューズ大学図書館 企画展 お金の世界	2022年7月～9月		
		ミューズ大学図書館 企画展 これって依存症？	2022年10月～12月		
		ミューズ大学図書館 企画展 貧困	2023年1月～3月		
		堺キャンパス図書館 企画展 TO THE FUTURE～これからの社会 これからの自分～	2022年4月～6月		
		堺キャンパス図書館 企画展 バリアフリー&ユニバーサル	2022年7月～9月		
		堺キャンパス図書館 企画展 Let's play sports ―子どもたちといっしょに―	2022年10月～12月		
		堺キャンパス図書館 企画展 身近な社会問題	2023年1月～3月		
		2023 年度	企画展示	改めまして、世界。	Season 1：2023年4月1日(土)～2023年5月31日(木) Season 2：2023年6月1日(木)～2023年7月31日(月)
			EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示「EU 諸国と日本の小説」	2023年5月9日(火)～5月24日(水)
企画展示	SDGs を知ろう！～未来を守る第一歩～		第1期：2023年9月21日(木)～2023年11月30日(木) 第2期：2023年12月1日(金)～2024年1月31日(木)		
	すいたクールアースウィークコラボレーションブースの展示		2023年9月22日(金)～12月2日(土)		
	高槻キャンパス図書館 企画展 なぜ？から始めよう		2023年4月～6月		
	高槻キャンパス図書館 企画展 EV × AI ～モビリティ革命～		2023年7月～9月		
	高槻キャンパス図書館 企画展 SDGs ―教育―		2023年10月～12月		
	高槻キャンパス図書館 企画展 暗号と情報社会		2024年1月～3月		
	ミューズ大学図書館 企画展 図書館からの新生活応援		2023年4月～6月		
	ミューズ大学図書館 企画展 鉄道の歴史		2023年7月～9月		
	ミューズ大学図書館 企画展 AI ― Artificial Intelligence ―		2023年10月～12月		
	ミューズ大学図書館 企画展 大震災		2024年1月～3月		
	堺キャンパス図書館 企画展 あなたの「はじめて」応援します!!		2023年4月～6月		
	堺キャンパス図書館 企画展 こどもを守る ―「こどもの居場所」をつくるために―		2023年7月～9月		
	堺キャンパス図書館 企画展 カラダの中からきたえる!!		2023年10月～12月		
	堺キャンパス図書館 企画展 働くということ		2024年1月～3月		

年 度	展示のテーマと講演会の演題	会 期	
2024 年度	企画展示 いろはにほん	2024年4月1日(月)～7月31日(水) 第1期：2024年4月1日(月)～5月31日(金) 第2期：2024年6月1日(土)～7月31日(水)	
	企画展示 SDGs × 多様性	2024年9月24日(火)～2025年1月31日(金) 第1期：2024年9月24日(火)～11月30日(土) 第2期：2024年12月1日(日)～2025年1月31日(金)	
	特別展示	第1回【NHK × 関西大学総合図書館】2024年度特別展示 「理想的本箱」	2024年10月10日(木)～11月8日(金)
		第2回【NHK × 関西大学総合図書館】2024年度特別展示 「理想的本箱」	2024年11月18日(月)～12月17日(火)
		第3回【NHK × 関西大学総合図書館】2024年度特別展示 「理想的本箱」	2024年12月20日(金)～2025年1月31日(金)
		高槻キャンパス図書館 特別展 総情生はどんな本を読んできた!?	2024年4月～2025年3月
	企画展示	高槻キャンパス図書館 企画展 デジタル化とコミュニケーション	2024年4月～6月
		高槻キャンパス図書館 企画展 情報技術の現在/過去	2024年7月～9月
		高槻キャンパス図書館 企画展 ゲームは1日1時間	2024年10月～12月
		高槻キャンパス図書館 企画展 ソーシャルメディアの30年	2025年1月～3月
		ミューズ大学図書館 企画展 新学期です！何か始めてみませんか？—図書館で心機一転—	2024年4月～6月
		ミューズ大学図書館 企画展 Sex, Gender, Sexuality	2024年7月～9月
		ミューズ大学図書館 企画展 まちづくり	2024年10月～12月
		ミューズ大学図書館 企画展 ハローワールド	2025年1月～3月
		堺キャンパス図書館 企画展 なりたい自分になる！	2024年4月～6月
		堺キャンパス図書館 企画展 スポーツを支える技術	2024年7月～9月
		堺キャンパス図書館 企画展 ココロとカラダの休め方	2024年10月～12月
堺キャンパス図書館 企画展 ケアについて考える		2025年1月～3月	
2025 年度		企画展示	# SNS とのつきあい方
	仕事×人生×SDGs		第1期：2025年9月24日(水)～2025年11月30日(日) 第2期：2025年12月1日(月)～2026年1月30日(金)
	高槻キャンパス図書館 企画展 「2次元に沼る」	2025年4月～6月	
	高槻キャンパス図書館 企画展 「読む数学～数の世界～」	2025年7月～9月	
	高槻キャンパス図書館 企画展 「コンテンツを読み解く」	2025年10月～12月	
	高槻キャンパス図書館 企画展 「AIの光と影」	2026年1月～3月	
	ミューズ大学図書館 企画展 「レポート、論文作成 図書館活用のススメ」	2025年4月～6月	
	ミューズ大学図書館 企画展 「新聞書評掲載本2024」	2025年7月～9月	
	ミューズ大学図書館 企画展 「WITH」	2025年10月～12月	
	ミューズ大学図書館 企画展 「昭和100年」	2026年1月～3月	
	堺キャンパス図書館 企画展 「『おもしろい』を広げよう！」	2025年4月～6月	
	堺キャンパス図書館 企画展 「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づく」	2025年7月～9月	
	堺キャンパス図書館 企画展 「知っておきたい心とからだ」	2025年10月～12月	
	堺キャンパス図書館 企画展 「健康な「身体づくり」ははじめませんか」	2026年1月～3月	
EUi 企画	日・EU フレンドシップウィーク展示 「ベルギーについて～ルーヴェン大学創立600周年記念展示～」	2025年6月13日(金)～6月27日(金)	

注1 総合図書館の展示会のうち場所を示していない場合は、総合図書館展示室において開催した。

d 資料の出陳・放映（学外からの依頼分）

依頼機関	展示会・番組等の名称	会期・放映日	掲載・借用依頼資料	請求記号
市立伊丹ミュージアム	動物画譚	2025年4月11日(金)～ 6月1日(日)	稲荷狐図	C2*721.6*M7*1
			[象之繪卷]	C*721.8*Z1*1
			昔噺かちかち山	L23**900*7196
			枯木花さかせ親仁	N8C2*913.57*1
			落噺舌切雀	L23**900*6090
			かちかち山	L23**900*7194
			分福ちゃ釜, 2巻 上	C2*913.64*T1*1-1
			舌切雀竹島怪談 6巻	L25**1-71
東京国立博物館	葛屋重三郎 コンテンツビジネスの風雲児	2025年4月22日(火)～ 6月15日(日)	吉原細見五葉松	C2*384.9*Y1*5
			籬の花	C2*384.9*Y1*7
			高尾船字文 5巻	*913.65*T1*13-1～5
			風来六々部集；後篇下	L25**1-74*2-2
			初役金烏帽子魚	*913.64*S2*88
			狂歌評判俳優風 上中下	*911.29*K7*1-1～3
株式会社 椿プロ	NHKBS「原爆裁判」	2025年8月8日(金)	岡本尚一弁護士の写真 ([岡本弁護士私信ソノ他])	LF*D26*68 (42)
大津市歴史博物館	第98回企画展「れきはくの大津絵」	2025年9月27日(土)～ 11月9日(日)	似我蜂物語	C*913.61*J684*1
			傾城反魂香	L23**900*8087
亀岡市文化博物館	第76回企画展 市制施行70周年：石田梅岩生誕340周年記念「石田梅岩 心学の成立と展開—現代に生きる共生の思想—」	2025年10月4日(土)～ 11月24日(月)	両頭筆善悪日記 3巻	L23**900*6683
			堪忍袋緒メ善玉：3巻	*913.64*S2*80
			人間一生胸算用	N8*913.57*9
明石市立文化博物館	はじめてのミュシャ— 変わりゆくミュージズへの“まなざし”	2026年3月28日(土)～ 5月10日(日)	新古文林 1巻3号	M*905*S37

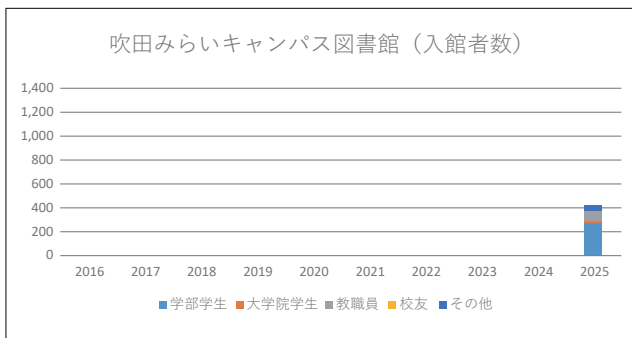
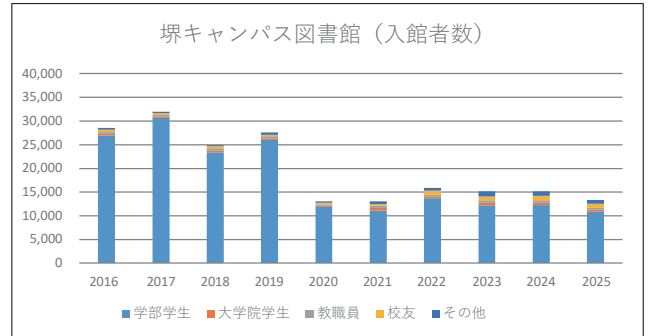
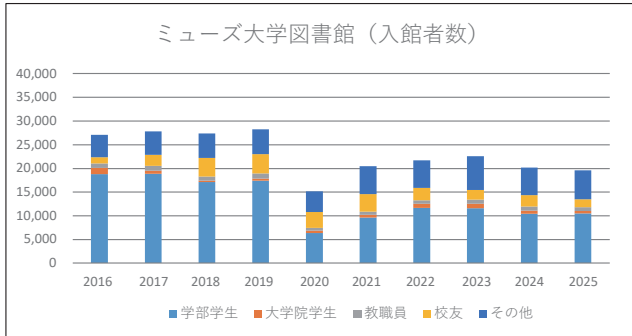
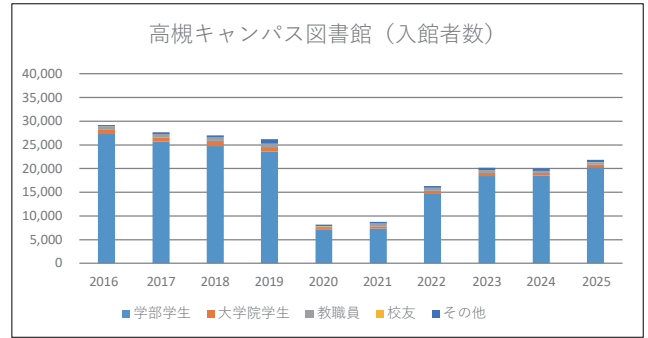
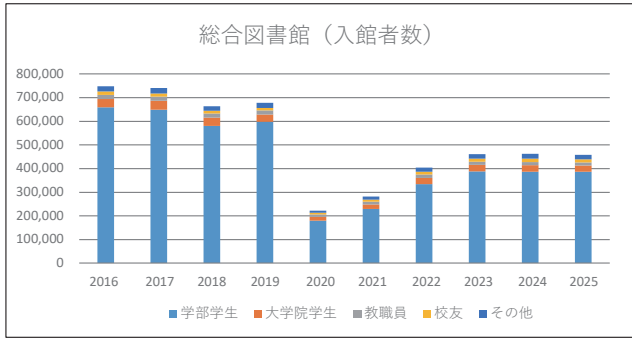
2 10年間の推移（2016年度～2025年度）

- (1) 館別・資格別入館者数
- (2) 館別・図書利用者数および利用冊数
- (3) Webによるサービスの利用状況
- (4) 図書館間相互利用件数
- (5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル
- (6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）
- (7) 図書の受入数
- (8) 図書館資料費執行額の推移
- (9) 電子資料に係る経費の推移

(1) 館別・資格別入館者数

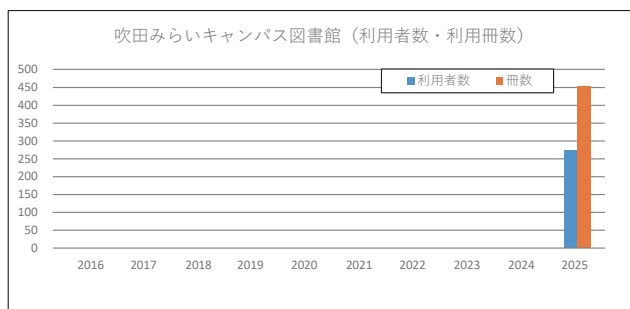
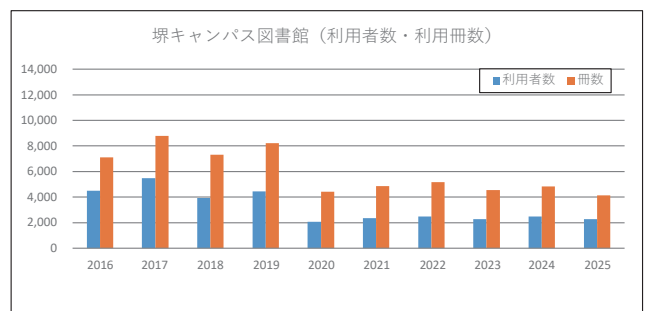
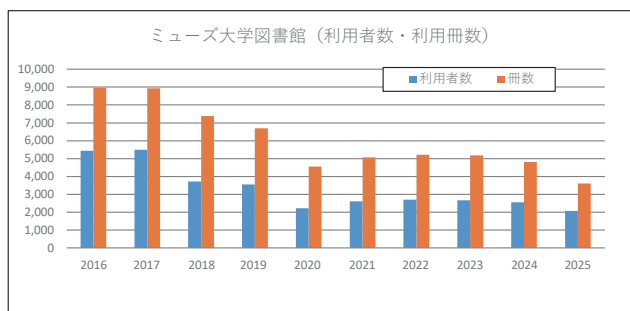
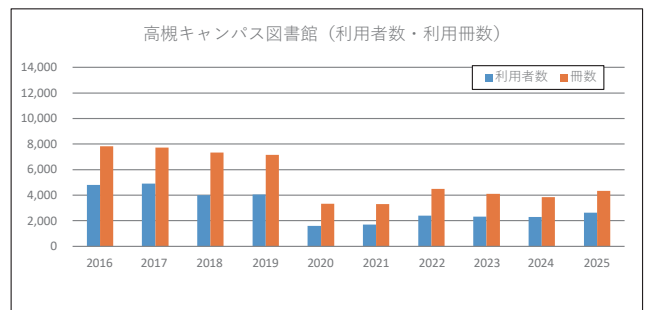
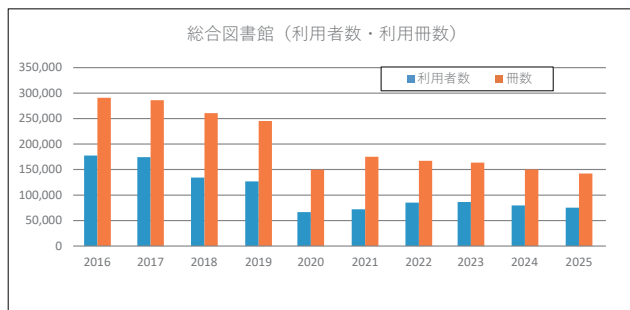
館名	資格	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総合 図書館	学部学生	659,114	648,342	580,591	597,282	180,649	229,068	334,394	388,526	387,086	386,154
	大学院学生	35,473	38,664	35,145	30,831	16,030	19,497	26,967	26,739	26,866	26,743
	教職員	16,920	17,770	17,281	17,259	9,387	11,784	14,519	14,340	13,953	13,356
	校友	14,729	12,824	11,432	11,134	6,818	9,052	11,429	12,471	13,781	12,526
	その他	21,024	23,191	19,490	21,474	9,448	12,117	16,872	19,626	20,225	19,036
	合計	747,260	740,791	663,939	677,980	222,332	281,518	404,181	461,702	461,911	457,815
高槻 キャンパス 図書館	学部学生	27,284	25,731	24,723	23,585	7,124	7,389	14,646	18,419	18,536	20,314
	大学院学生	892	843	1,137	921	322	430	665	661	548	493
	教職員	665	662	726	766	413	538	634	569	461	450
	校友	32	28	7	8	24	21	13	2	12	53
	その他	326	427	411	945	333	362	345	533	471	524
	合計	29,199	27,691	27,004	26,225	8,216	8,740	16,303	20,184	20,028	21,834
ミューズ 大学 図書館	学部学生	18,840	18,849	17,124	17,407	6,360	9,654	11,676	11,593	10,419	10,518
	大学院学生	1,253	685	305	470	529	590	888	948	677	502
	教職員	980	1,051	892	1,047	551	676	696	863	904	850
	校友	1,299	2,269	3,902	4,128	3,370	3,688	2,653	2,056	2,386	1,653
	その他	4,747	4,996	5,185	5,225	4,370	5,903	5,772	7,151	5,795	6,059
	合計	27,119	27,850	27,408	28,277	15,180	20,511	21,685	22,611	20,181	19,582
堺 キャンパス 図書館	学部学生	26,972	30,676	23,406	25,998	11,901	11,129	13,690	12,189	12,288	10,922
	大学院学生	329	266	341	319	203	581	382	568	524	370
	教職員	374	387	502	458	309	409	415	519	484	420
	校友	544	368	466	349	344	380	829	788	905	852
	その他	352	236	218	463	343	563	574	1,125	942	777
	合計	28,571	31,933	24,933	27,587	13,100	13,062	15,890	15,189	15,143	13,341
吹田みらい キャンパス 図書館	学部学生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	280
	大学院学生	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11
	教職員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	81
	校友	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	46
	合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	418
総合計		832,149	828,265	743,284	760,069	258,828	323,831	458,059	519,686	517,263	512,990

注1 「その他」は地域市民、科目等履修生、聴講生、留学生別科、協定大学の専任教員・大学院学生、他機関からの利用者。



(2) 館別・図書利用者数および利用冊数

館名	区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総合図書館	利用者数	177,603	174,354	134,418	126,688	66,635	72,117	85,015	86,268	79,834	75,479
	冊数	291,079	286,279	260,808	245,209	149,643	174,984	167,281	163,602	150,055	142,273
高槻 キャンパス 図書館	利用者数	4,814	4,918	4,003	4,064	1,600	1,710	2,398	2,315	2,294	2,626
	冊数	7,825	7,720	7,346	7,161	3,319	3,300	4,488	4,105	3,855	4,341
ミュージズ 大学図書館	利用者数	5,444	5,502	3,719	3,558	2,228	2,610	2,692	2,668	2,547	2,062
	冊数	8,978	8,925	7,389	6,700	4,541	5,073	5,223	5,187	4,806	3,611
堺キャンパス 図書館	利用者数	4,491	5,485	3,920	4,443	2,066	2,346	2,475	2,279	2,489	2,273
	冊数	7,112	8,793	7,315	8,228	4,428	4,867	5,160	4,537	4,829	4,131
吹田みらい キャンパス 図書館	利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	274
	冊数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	453

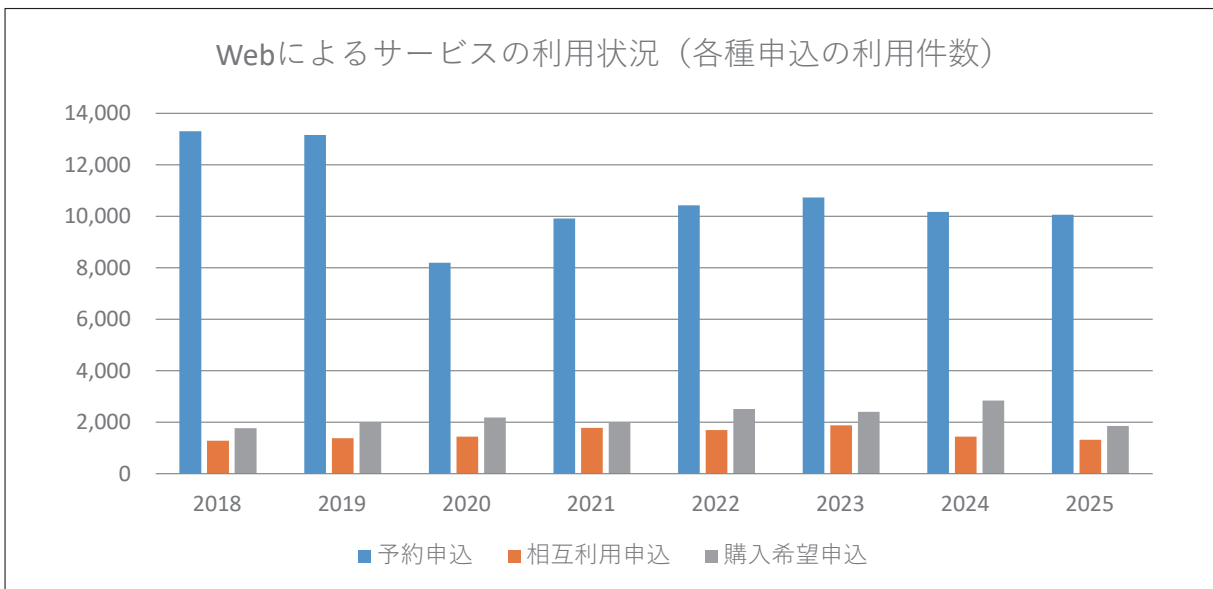
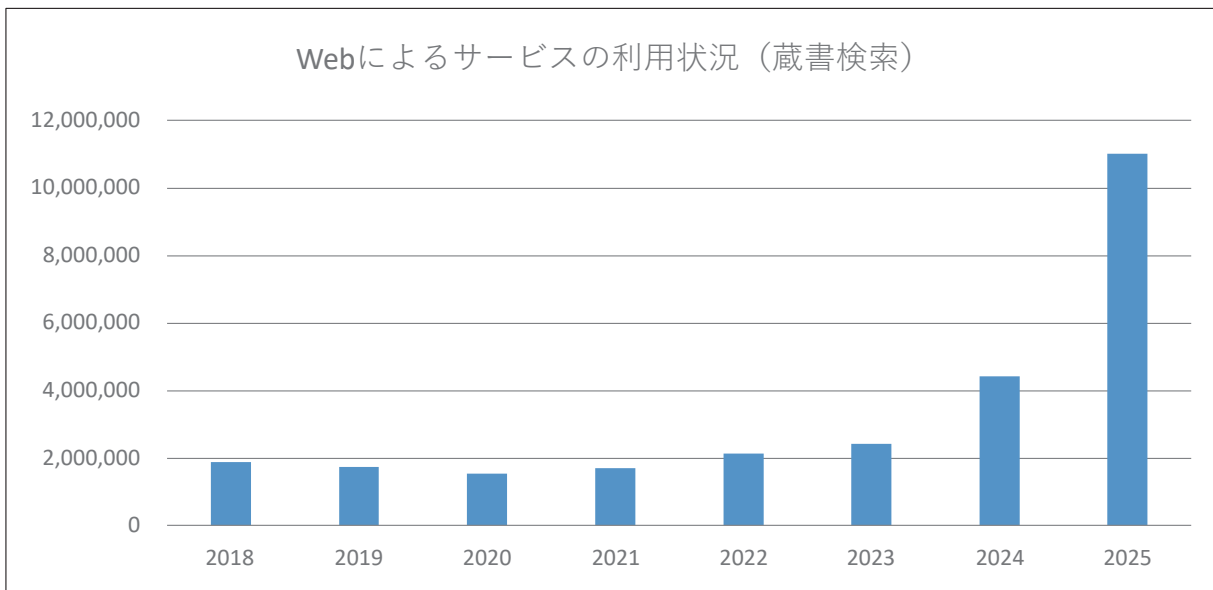


(3) Webによるサービスの利用状況

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
蔵書検索	1,886,933	1,746,581	1,534,671	1,704,047	2,132,404	2,432,932	4,425,774	11,002,171
予約申込	13,305	13,153	8,191	9,914	10,425	10,731	10,174	10,066
相互利用申込	1,276	1,379	1,436	1,785	1,699	1,877	1,443	1,312
購入希望申込	1,773	1,977	2,186	2,002	2,515	2,403	2,838	1,853

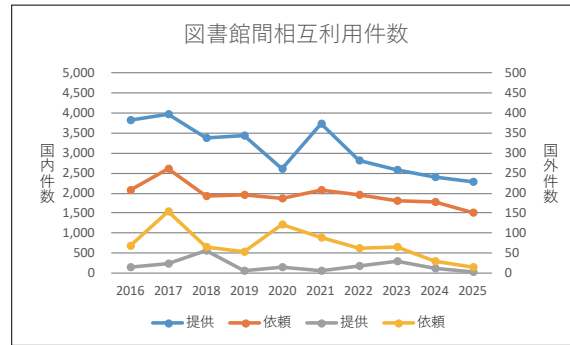
注1 統計取得は2018年度より開始。

注2 購入希望はWeb以外に書類提出によるものもある。



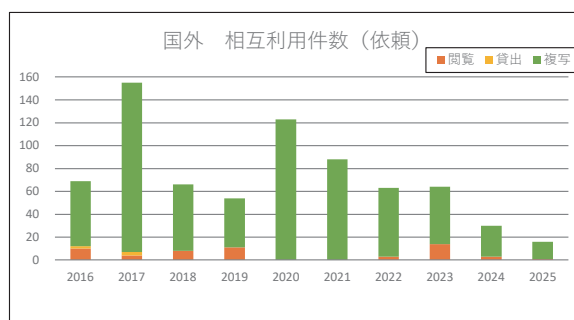
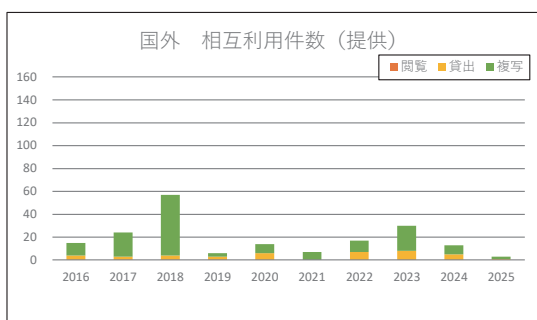
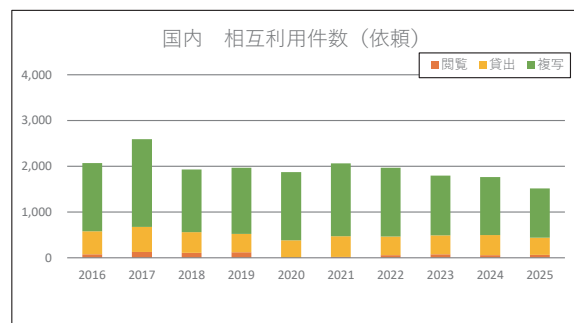
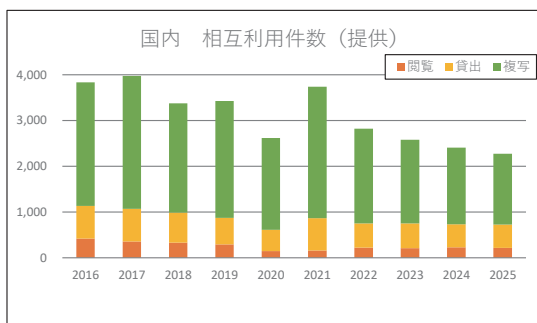
(4) 図書館間相互利用件数

		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国内	提供	3,836	3,974	3,375	3,430	2,618	3,743	2,823	2,584	2,409	2,276
	依頼	2,070	2,596	1,932	1,970	1,872	2,067	1,970	1,798	1,768	1,521
国外	提供	15	24	57	6	14	7	17	30	13	3
	依頼	69	155	66	54	123	88	63	64	30	16



			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
国内	提供	閲覧	421	360	333	298	148	165	226	215	230	219
		貸出	717	712	655	578	466	702	525	541	502	511
		複写	2,698	2,902	2,387	2,554	2,004	2,876	2,072	1,828	1,677	1,546
	依頼	閲覧	80	131	109	122	5	23	57	80	63	65
		貸出	500	544	454	401	381	450	411	413	437	380
		複写	1,490	1,921	1,369	1,447	1,486	1,594	1,502	1,305	1,268	1,076
国外	提供	閲覧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		貸出	4	3	4	3	6	0	7	8	5	1
		複写	11	21	53	3	8	7	10	22	8	2
	依頼	閲覧	10	4	8	11	0	0	3	14	3	1
		貸出	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0
		複写	57	148	58	43	123	88	60	50	27	15

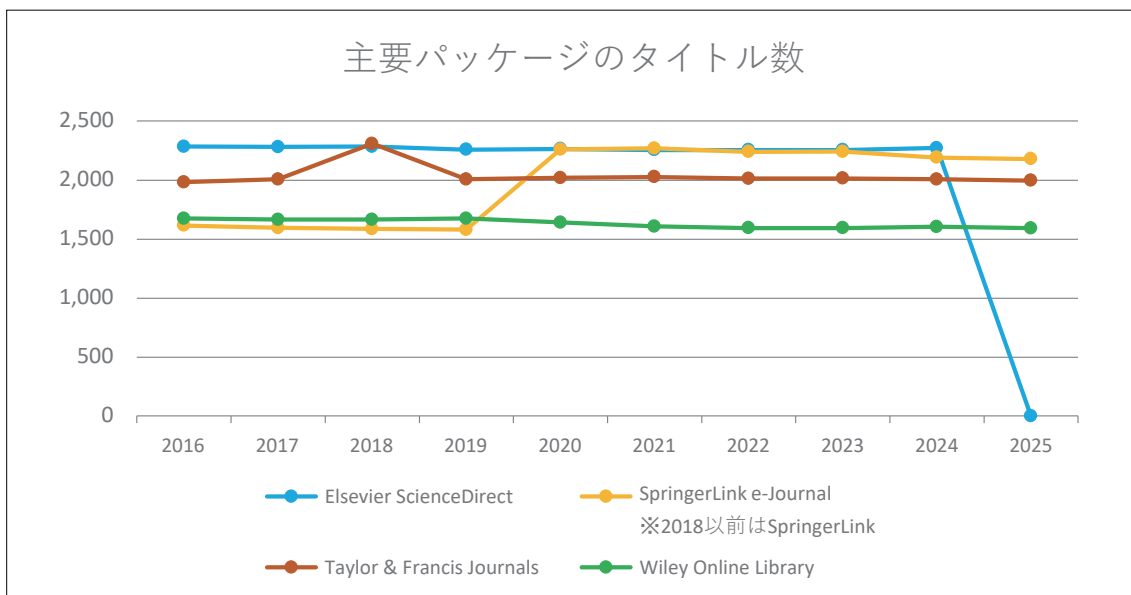
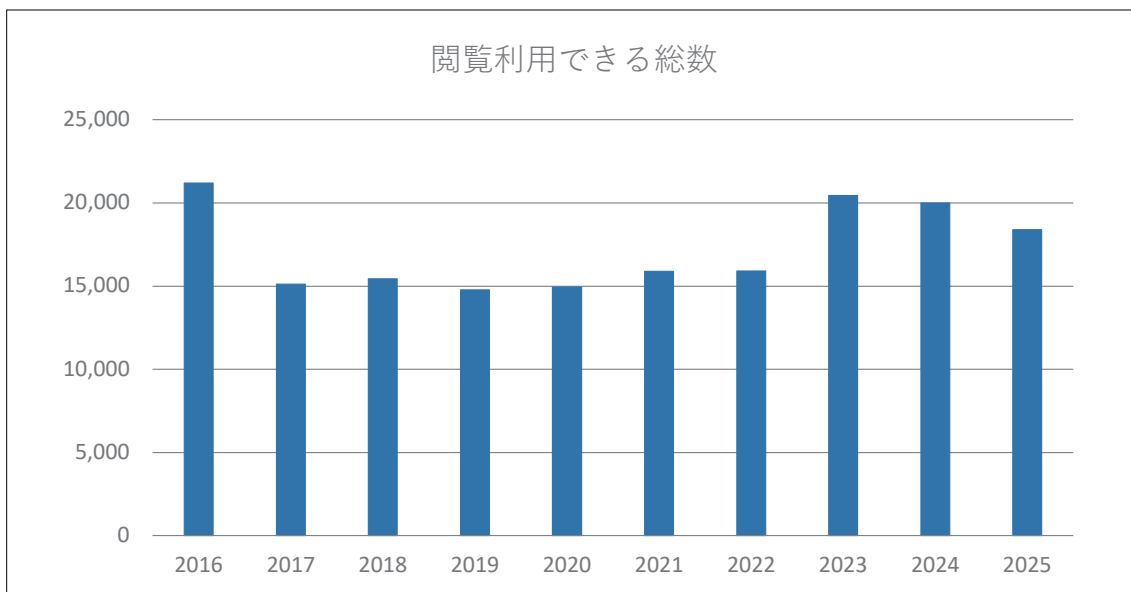
注1 提供の貸出と複写、依頼の借出と複写の件数にはキャンセル件数を含む。



(5) 学内で閲覧利用できる電子ジャーナル

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
閲覧利用できる総数	21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911	20,445	19,995	18,400	
の 主 要 パ ッ ケ ー ジ の タ イ ト ル 数	Elsevier ScienceDirect	2,285	2,282	2,284	2,259	2,265	2,255	2,256	2,256	2,273	1
	SpringerLink e-Journal ※2018以前はSpringerLink	1,615	1,595	1,587	1,579	2,261	2,268	2,240	2,241	2,192	2,179
	Taylor & Francis Journals	1,982	2,007	2,307	2,008	2,020	2,027	2,013	2,015	2,008	1,996
	Wiley Online Library	1,674	1,666	1,666	1,674	1,642	1,608	1,594	1,594	1,605	1,593

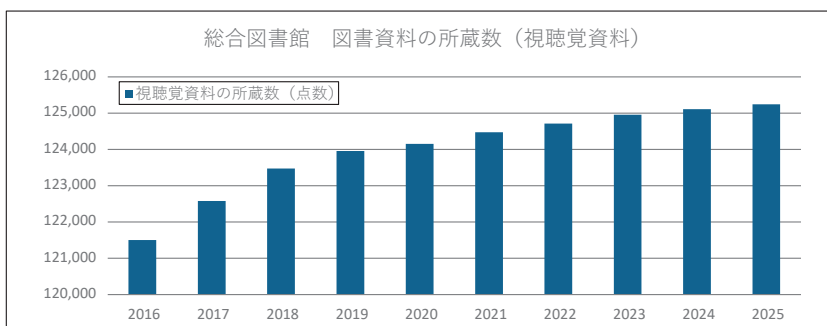
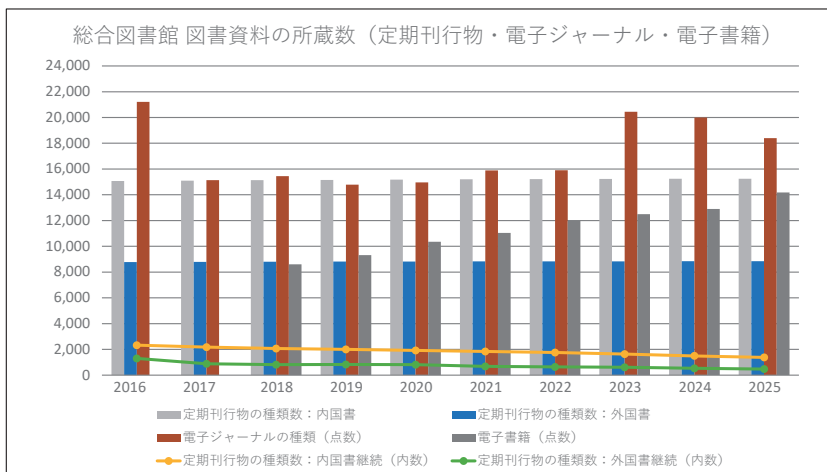
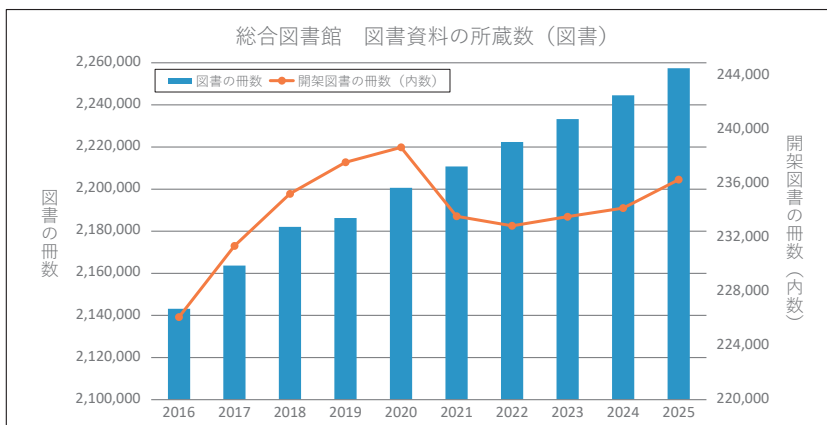
注1 2013年度から2016年度までの数値は、計数処理の都合により作業時点(翌年4月時点)の数字となっている。
 注2 「Elsevier ScienceDirect」は、2025年度にパッケージ契約を終了し、個別契約(1タイトル)とPay Per View方式(必要な論文を利用の都度、論文単位で課金される仕組み)による提供へ変更した。



(6) 図書資料の所蔵数（総合図書館）

区分	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
図書の冊数		2,143,182	2,163,705	2,182,077	2,186,252	2,200,616	2,210,742	2,222,418	2,233,235	2,244,544	2,257,430
開架図書の冊数（内数）		226,129	231,413	235,279	237,619	238,723	233,608	232,900	233,579	234,218	236,327
の 定 期 刊 行 物 の 種 類 数	内国書	15,072	15,095	15,130	15,150	15,172	15,200	15,219	15,230	15,240	15,246
	内国書継続（内数）	2,328	2,177	2,065	2,000	1,925	1,842	1,759	1,634	1,496	1,378
	外国書	8,780	8,791	8,802	8,812	8,817	8,828	8,833	8,836	8,840	8,841
	外国書継続（内数）	1,301	888	817	830	818	686	637	609	535	473
視聴覚資料の所蔵数（点数）		121,502	122,578	123,475	123,958	124,152	124,476	124,713	124,959	125,111	125,245
電子ジャーナルの種類（点数）		21,206	15,131	15,445	14,787	14,962	15,892	15,911	20,445	19,995	18,400
電子書籍（点数）		—	—	8,598	9,321	10,359	11,044	11,988	12,502	12,905	14,180

- 注1 図書の冊数には、製本した雑誌等逐次刊行物を含む。
- 注2 視聴覚資料は、マイクロフィルム、マイクロフィッシュが大半を占め、カセットテープ、ビデオテープおよびCD-ROM・DVD-ROM等を含み、図書の冊数の内数である。
- 注3 定期刊行物の種類数には電子ジャーナルの種類数は含んでいない。
- 注4 電子ジャーナルの種類数は延べ数で、総合図書館で集中管理をしている。
- 注5 電子書籍に係る統計取得は2018年度より開始。

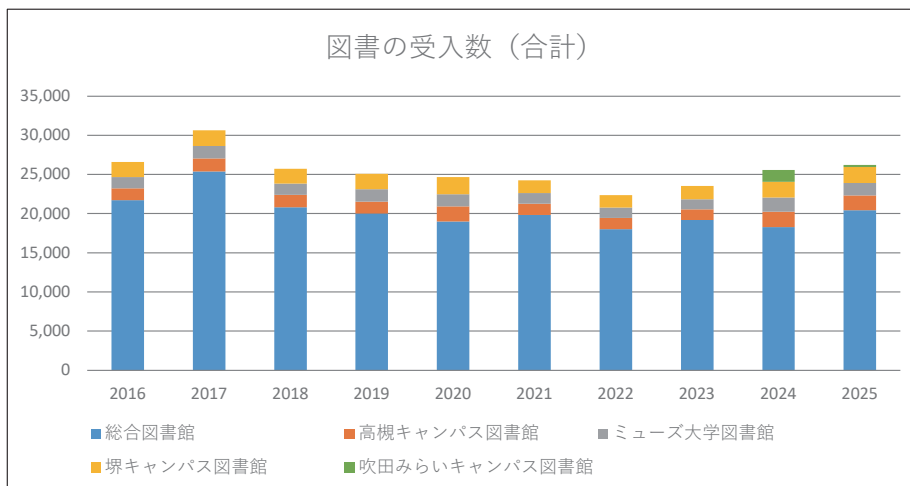
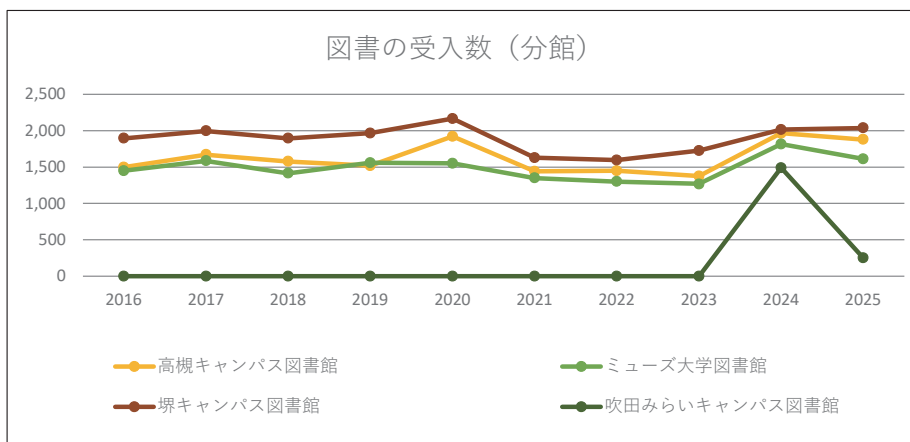
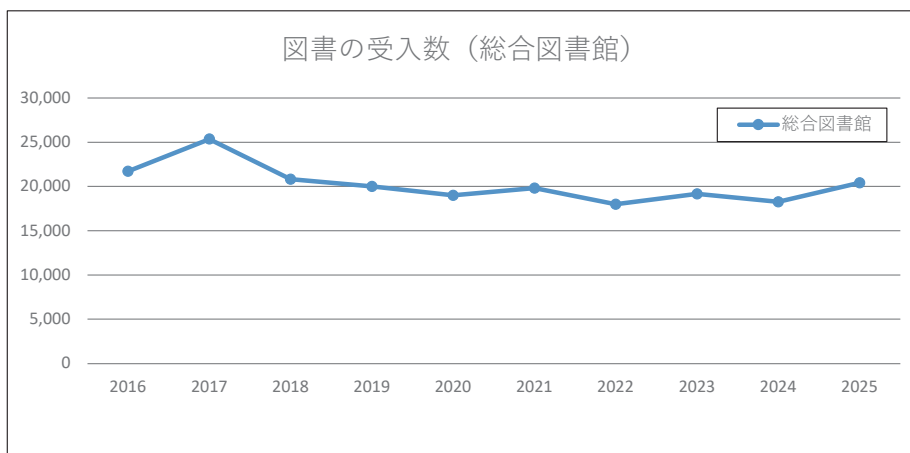


(7) 図書の受入数

(単位：冊)

館名	年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
総合図書館		21,730	25,369	20,821	20,016	19,004	19,828	18,007	19,173	18,279	20,428
高槻キャンパス図書館		1,501	1,672	1,579	1,521	1,923	1,442	1,452	1,375	1,965	1,880
ミューズ大学図書館		1,450	1,588	1,417	1,560	1,552	1,351	1,303	1,269	1,816	1,613
堺キャンパス図書館		1,896	1,998	1,896	1,967	2,167	1,631	1,598	1,727	2,017	2,039
吹田みらいキャンパス図書館		—	—	—	—	—	—	—	—	1,492	253
計		26,577	30,627	25,713	25,064	24,646	24,252	22,360	23,544	25,569	26,213

注1 製本した雑誌等逐次刊行物を含む。



(8) 図書館資料費執行額の推移

(単位：円)

区分 \ 年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
図書(和)	90,865,375	86,294,134	84,288,861	83,701,578	82,100,097	83,168,360	87,744,327	91,547,599	92,959,172	97,499,255
図書(洋)	81,407,431	79,951,962	71,552,046	67,391,716	72,617,188	71,686,744	40,634,295	48,130,125	55,937,158	58,609,213
雑誌(和)	30,454,818	29,520,048	32,401,608	28,552,190	26,869,675	26,583,086	26,667,388	25,837,828	24,872,228	22,965,660
雑誌(洋)	365,449,403	330,814,027	348,152,804	355,108,041	359,138,162	358,823,377	367,965,670	412,373,924	458,855,817	430,720,837
電子媒体	629,996	3,420,619	2,233,737	1,605,997	1,225,125	1,482,679	1,242,186	1,514,194	119,328	61,347
マイクロ(和)	629,856	1,797,336	7,318,080	3,333,456	1,785,520	5,045,792	4,932,492	3,625,692	721,692	1,602,792
マイクロ(洋)	833,902	373,554	0	0	0	1,188,000	0	0	0	0
その他の資料	14,256,315	18,258,932	27,649,781	37,072,965	35,469,179	30,534,334	58,552,582	48,288,275	41,336,598	32,384,905
外部データベース	93,344,220	93,257,202	90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395	116,708,437
合計	677,871,316	643,687,814	663,968,265	663,008,641	655,717,795	655,898,339	661,962,191	708,059,336	786,495,388	760,552,446
製本費	8,853,744	7,602,663	6,959,015	6,579,734	5,738,810	7,983,668	6,011,665	5,905,195	6,992,590	5,935,380

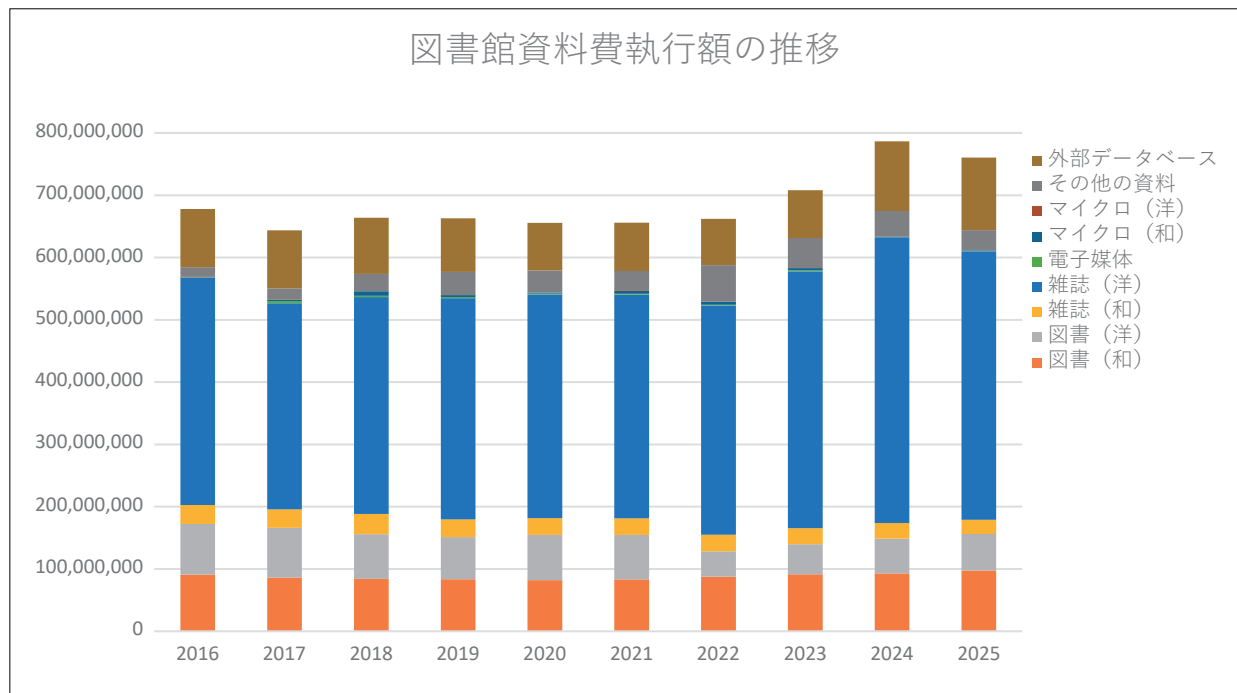
注1 中国語・朝鮮語図書は、和書に含める。

注2 「雑誌」には電子ジャーナルを含む。

注3 「電子媒体」にはCD-ROM、DVD-ROM等を含む。

注4 「その他の資料」には、追録、電子書籍、AV資料を含む。

注5 2024年度の吹田みらいキャンパス図書館の図書館資料費執行額9,350,912円、2025年度の吹田みらいキャンパス図書館の図書館資料費執行額9,850,569円。

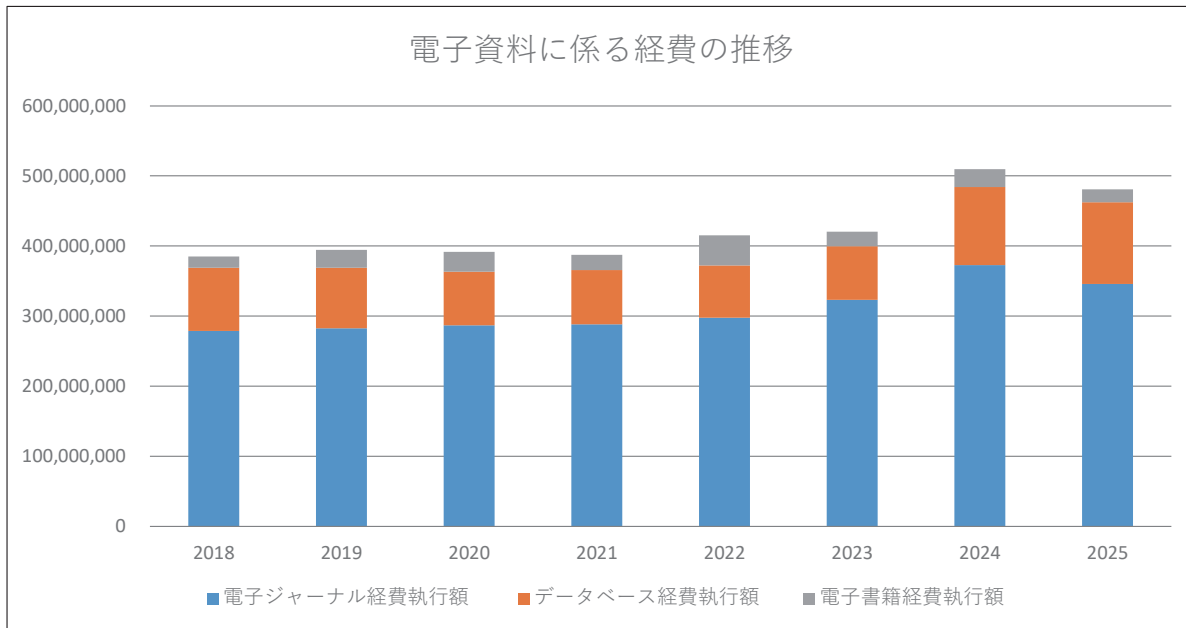


(9) 電子資料に係る経費の推移

(単位：円)

区分	年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
電子ジャーナル経費執行額		278,621,627	282,533,596	286,730,735	288,089,970	297,815,838	323,024,508	372,617,090	345,607,543
データベース経費執行額		90,371,348	86,242,698	76,512,849	77,385,967	74,223,251	76,741,699	111,693,395	116,708,437
電子書籍経費執行額		16,201,226	25,577,065	28,131,304	21,925,571	43,099,135	20,785,626	25,506,015	18,357,636
合計		385,194,201	394,353,359	391,374,888	387,401,508	415,138,224	420,551,833	509,816,500	480,673,616

- 注1 「電子書籍経費執行額」は、図書費として予算執行する資料（買い切り製品のデータベース及び電子で刊行される雑誌バックナンバー）の経費を含む。
- 注2 統計取得は2018年度より開始。
- 注3 2024年度の吹田みらいキャンパス図書館の電子書籍経費執行額3,958,337円、2025年度の吹田みらいキャンパス図書館の電子書籍経費執行額8,062,153円。



3 2025年度 図書館自己点検・評価委員会名簿

	氏名	備考
規程第5条第1号委員	坂本治也	委員長・図書館長
規程第5条第2号委員	堀潤之	図書委員会委員（文学部選出）
	中川竜一	図書委員会委員（経済学部選出）
	池田峻	図書委員会委員（総合情報学部選出）
	飛田哲男	図書委員会委員（環境都市工学部選出）
規程第5条第3号委員	桑原久佳	学術情報事務局長
規程第5条第4号委員	濱生快彦	学術情報事務局次長（図書館担当）
規程第5条第5号委員	大江佐知子	図書館事務室
	新谷大二郎	図書館事務室
	浦田恵子	図書館事務室

【事務局（図書館事務室）】 新谷 大二郎

4 図書館自己点検・評価委員会規程

制定 平成6年1月28日

(趣 旨)

第1条 この規程は、関西大学図書館規程第7条第2項の規定に基づき、図書館自己点検・評価委員会（以下「委員会」という。）について必要な事項を定めるものとする。

(任 務)

第2条 委員会は、図書館における教育研究の支援活動及び管理運営の自己点検・評価の取組を行うため、次の事項を行う。

- (1) 自己点検・評価の方針の策定並びに点検項目の設定及び変更
- (2) データの収集、分析及び検討
- (3) 報告書の作成
- (4) その他自己点検・評価及び第三者評価に関する事項

(各機関の協力)

第3条 委員会は、前条第2号に規定するデータ収集のため、それに関わる各機関に対して協力を求めることができる。

(報 告)

第4条 委員会は、自己点検・評価の結果を図書館長に報告し、図書委員会の議を経て公表することができる。

(構 成)

第5条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 図書館長
 - (2) 図書委員のうちから図書館長が指名する者若干名
 - (3) 学術情報事務局長
 - (4) 学術情報事務局次長（図書館担当）
 - (5) 図書館事務職員から若干名
- 2 図書館長が必要と認めた場合、2名以内に限り、図書委員会の議を経て大学内外の有識者に委員を委嘱することができる。

(委員長等)

第6条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は図書館長をもって充て、副委員長は委員のうちから委員長が指名する。
- 3 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。

(委員の任期)

第7条 第5条第1項第2号及び第5号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の委員に欠員が生じたときは、補充しなければならない。この場合において、後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(運 営)

第8条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

- 2 委員会は、委員の過半数の出席をもって成立し、議事は出席委員の過半数の同意をもって決し、可否同数の場合は議長が決する。

- 3 委員会は、必要に応じて、委員以外の者に出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事 務)

第9条 委員会の事務は、図書館事務室が行う。

附 則

この規程は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成8年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成13年10月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規程（改正）は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 この規程（改正）施行後最初に第5条第3号及び第4号の規定により選出された委員の任期は、第7条第1項本文の規定にかかわらず、平成16年3月31日までとする。

附 則

この規程（改正）は、平成18年10月12日から施行し、平成18年8月1日から適用する。

附 則

この規程（改正）は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程（改正）は、2019年10月1日から施行する。

関西四大学図書館職員研修会報告

新谷 大二郎

2025年11月26日(水)に2025年度関西四大学図書館連絡会職員研修会が開催された。本報告は、関西四大学図書館連絡会について説明するとともに、本研修会の実施結果について報告することを目的とするものである。

1 関西四大学図書館連絡会について

関西四大学図書館連絡会は、関西大学図書館、関西学院大学図書館、同志社大学図書館、立命館大学図書館が、相互協力の推進を図り、図書館運営の充実に資するために組織されたものである。本連絡会の目的等は1981年に締結された「関西四大学図書館長会議規約」に定められている。

関西四大学図書館連絡会では、上記の目的を達成するために、毎年、次の行事等を実施している。それらの実施方法等について、以下に詳述する。

- (1) 幹事会
- (2) 連絡会
- (3) 館長会議
- (4) 職員研修会
- (5) 照合事項

(1) 幹事会

1年交代での持ち回りにより、四大学の中で当該年度の当番校を定めた上、各館から若干名の幹事を選定し、幹事会を構成する。

幹事会は原則年3回実施し、第1回は年間スケジュールの確認、前年度からの申し送り事項の確認、関西四大学図書館連絡会の運営にかかる収支決算の確認を主な目的とする。

第2回は、連絡会の事前打ち合わせを主な目的として実施する。

第3回は、館長会議の事前打ち合わせを主な目的として実施する。

職員研修会の実施にあたっては、原則幹事会を招

集することはないが、その他の事由によっても、必要に応じて実施するものとして柔軟に運用している。

(2) 連絡会

館長会議を実施するにあたっての連絡調整を図るための会議体として連絡会を構成している。紛らわしいが、関西四大学の互助的な組織として「関西四大学図書館連絡会」があり、本連絡会において実施される連絡会として、この連絡会があるという構造となっている。

構成メンバーは館長職以外の管理職としている。

実施時期は、「関西四大学図書館長会議規約」上では春季に実施するものとされているが、資料の準備等の兼ね合いから、慣例として7月末から8月にかけて設定されることが多い。幹事間で実施日、出席者、議題を事前調整の上、設定する。

主な議題は、前年度の関西四大学図書館連絡会の運営にかかる収支決算の報告、館長会議の実施予定、館長会議提出資料の要領確認、職員研修会の実施予定確認、近況報告・情報交換である。

2025年度実施の連絡会では、電子資料の契約方式、業務システムのリプレイス、業務システムに対するサイバー攻撃への対処、ウェブパスファインダーを用いた図書館の情報発信、転換契約を含めたオープンサイエンス対応にかかる大学内での協働状況などについての情報交換がなされた。

(3) 館長会議

冒頭に示した関西四大学図書館連絡会の目的を達成するために実施される会議体として、館長会議を設けている。

構成メンバーは各館館長、所長、その他の管理職である。副館長もメンバーとすることができる。

実施時期は上記の連絡会における事前調整を踏まえてのものとなるため、例年9月ごろ設定されることが多い。幹事間で実施日、出席者、議題を事前調整の上、設定する。

主な議題は、連絡会の結果報告、職員研修会の実施予定報告、近況報告・情報交換である。

2025年度実施時には、自動化書庫に関すること、図書館におけるカビ・湿度・書庫狭隘対策、図書館員の人材育成、貴重図書の運用などについての情報交換がなされた。

(4) 職員研修会

「関西四大学図書館職員研修会運営要項」に基づき、大学図書館業務についての情報交換および調査研究を行い、関西四大学図書館の発展に寄与することを目的として、年1回実施する。

企画立案は幹事会で行い、連絡会での承認、館長会議での報告を経て、当該年度の開催形式・テーマに応じた参加者を設定する。

実施時期は、上記の手続きを必要とすることから、例年10月～11月に設定されることが多い。幹事間で実施日、出席者（発表者）を事前調整の上、設定する。

開催形式については、「関西四大学図書館職員研修会運営要項」に定めるところは、①合宿研修会、②一日研修会のいずれかとするということのみであり、講師を招いての講演会形式とするか、各校からの発表会とするかといったことは、毎年幹事間で協議して企画している。

(5) 照合事項

上記の(1)～(4)の会議体等での情報交換とは別に、他校に質問したいことなどについて、都度照合事項として問い合わせることを可能としている。

照合事項のある館は、他校の幹事にメール等でその内容を連絡し、期日までに各校幹事は各校の担当者に確認し、依頼校に回答を行うこととしている。照合事項依頼の際の様式は特に定めず、問い合わせ内容に合わせた形で連絡することとして柔軟に運用している。

照合事項について、毎年数件は発生しており、情報交換の種は尽きないことを表している。

2 2025年度関西四大学図書館連絡会職員研修会

上記のとおり建付けから実施される職員研修会について、今回は「各大学におけるリポジトリを含めた電子情報資源の維持・管理・情報発信にかかる取組について」を大テーマとして、関連した小テ

マを各校で設定し、その取組み状況を発表する形式で実施した。小テーマの設定を各校の裁量に任せているのは、2024年度の職員研修会においても同様の形式を採用し、結果、大テーマに基づいた一貫した内容でありながらも、様々な観点から幅広い情報を得ることができたと、職員研修会参加者からは好評であったため、これを踏襲したものである。

開催形式は、Zoomを用いたオンライン開催とし、オンラインミーティングの特長を活かして、発表者だけではなく、聴講のみの参加も可能とし、関西四大学図書館の構成員から、広く参加者を募った。今回は約60名の参加があり、盛況であった。

今回の各校からの発表内容は、電子情報資源管理システム（ERMS）の導入、電子ジャーナルの高騰対応、公的資金を用いた研究成果の即時OA（オープンアクセス）化への機関リポジトリにおける対応、オープンアクセス推進の取組、電子情報管理の取組となり、期待していたとおり、電子情報資源に関わる図書館の抱える課題に、幅広く応えるものとなった。

各校からの発表の後には意見交換の時間を設け、発表に関することでも、それ以外のことでも、活発に情報交換することができるようにした。今回は、機関リポジトリの収録コンテンツの増加施策や登録運用、電子ジャーナルパッケージ等の解約にかかる学内手続き、即時OA対応を含むオープンアクセス推進体制、ERMSとリンクリゾルバの取替更新などについて質疑応答が交わされた。例年は発表内容以外のことにも話が広がるのが珍しいのだが、今回は特に各校に共通し、かつ、ホットな話題であり関心も高かったからか、発表内容に沿った質問が集中するという結果となった。

職員研修会実施後には、今後の職員研修会の企画立案に資するため、参加者に対してアンケートを行った。結果としては概ね好評であり、やはり、特定のテーマに限定するよりも、今回のように大テーマを設定した上で、小テーマについては各校の裁量に任せて幅広い内容が展開されるようにしておくことが望まれていることが確認された。一方で、開催形式については今後の検討を要する課題も示されていた。その点については、次項で触れたい。

3 今後の課題、展望

まず、課題としては、前項の最後に触れた職員研修会のアンケートでも多数の方から示されていたこ

とであるが、関西四大学図書館連絡会の各行事、とりわけ職員研修会の開催形式に関することがある。

コロナ禍以降、関西四大学図書館連絡会では、そのすべての行事をオンラインで実施しており、数年来、個別の往訪を除いては、対面での情報交換や顔合わせができていない状況にある。対面でしか得られない価値については毎年の幹事会においても否定するものではなく、ただ事前の調整や各校の当該年における事情等を鑑み、対面での開催が難しい状況が続いているということであるので、この点については、対面・オンラインのハイブリッド開催の可否も含めて、今後の検討課題であると捉えている。

次に、今後の展望としては、2025年度当番校であった本校としては、長年協力を重ねることにより、必要な時に必要なだけ各校の必要とする情報を交換

することができる柔軟な体制を作り上げてこられたという点だけを取り上げても、この連絡会の枠組みが大変貴重なものであることを再認識するに至ったことから、この連絡会が今後も維持・発展していくよう力を尽くしたいところである。

また、2025年度には、作業効率の向上及び確実な業務継承を目的として、これまで主にメールでやりとりしてきた各会議等のための資料作成について、ファイル共有サービスを利用することとした。これに留まらず、時代の変化に合わせた新たなサービス等を取り込むことにより、冒頭に示した「関西大学図書館、関西学院大学図書館、同志社大学図書館、立命館大学図書館が、相互協力の推進を図り、図書館運営の充実に資する」ことを、さらに推進させていきたい。

(しんたに だいじろう 図書館事務室)

2025年度図書館活動報告

1 図書委員会

- 第1回：2025年4月16日（水）[オンライン開催]
- 第2回：2025年5月21日（水）[持ち回り開催]
- 第3回：2025年6月18日（水）[持ち回り開催]
- 第4回：2025年7月16日（水）[オンライン開催]
- 第5回：2025年9月24日（水）[オンライン開催]
- 第6回：2025年10月15日（水）[オンライン開催]
- 第7回：2025年11月19日（水）[オンライン開催]
- 第8回：2025年12月17日（水）[持ち回り開催]
- 第9回：2026年1月21日（水）[持ち回り開催]
- 第10回：2026年2月18日（水）[オンライン開催]
- 第11回：2026年3月18日（水）[持ち回り開催]

2 2028年度以降の図書費予算のあり方の検討のための専門部会

- 第1回：2026年2月25日（水）[オンライン開催]
- 第2回：2026年3月25日（水）[オンライン開催]
- 2026年3月30日（月）[オンライン開催]

3 図書館自己点検・評価委員会

なし。

4 図書館会議

図書委員会開催の前週火曜日に図書館長と図書館職員で「図書館会議」を開催し、次回図書委員会事項等を協議している。

5 関西四大学図書館長会議

- ・開催日：2025年9月4日（木）
- ・場所：Zoom 利用によるオンライン会議
- ・出席者：関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学 各大学図書館長及び事務管理職者

(1) 報告事項

- ① 関西四大学図書館連絡会（2025.7.28開催）について
- ② 関西四大学図書館職員研修会（2025.11.26開催予定）について

(2) 近況報告・情報交換

「各館のカビ・湿度対策について」、「図書館職員人材育成施策について」、「除籍・廃棄・狭隘化対策の状況について」などについて情報交換を行った。

6 講演会・セミナー・講習会等の開催

(1) 講習会

- ・開催日：2025年4月24日(木)、25日(金)
- ・演題：「学術データベース CAS SciFinder-n 講習会」
- ・講師：化学情報協会 通山柴乃氏

(2) 館内での研修会①

- ・開催日：2025年7月18日(金)
- ・演題：「大学図書館整理業務と目録の基礎」
- ・主催者：丸善雄松堂書店

(3) 館内での展示①

- ・開催日：2025年4月1日(火)～7月31日(木)
- ・内容：「#SNS とのつきあい方」
- ・場所：総合図書館

(4) 館内での展示②

- ・開催日：2025年4月～6月
- ・内容：企画展「2次元に沼る」
- ・場所：高槻キャンパス図書館

(5) 館内での展示③

- ・開催日：2025年4月～6月
- ・内容：企画展「レポート、論文作成図書館活用のススメ。」
- ・場所：ミューズ大学図書館

(6) 館内での展示④

- ・開催日：2025年4月～6月
- ・内容：企画展「『おもしろい』を広げよう！」
- ・場所：堺キャンパス図書館

(7) 館内での展示⑤

- ・開催日：2025年6月13日(金)～27日(金)
- ・内容：「日・EU フレンドシップウィーク・プログラム「ベルギーについて～ルーヴェン大学創立600周年記念展示～」
- ・場所：総合図書館

(8) 館内での展示⑥

- ・開催日：2025年7月～9月
- ・内容：企画展「読む数学～数の世界～」
- ・場所：高槻キャンパス図書館

(9) 館内での展示⑦

- ・開催日：2025年7月～9月
- ・内容：企画展「新聞書評掲載本2024」
- ・場所：ミューズ大学図書館

(10) 館内での展示⑧

- ・開催日：2025年7月～9月

- 内 容：企画展「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気づく」
- 場 所：堺キャンパス図書館
- (11) 館内での展示⑨
 - 開催日：2025年9月24日(水)～2026年1月30日(金)
 - 内 容：仕事×人生×SDGs
 - 場 所：総合図書館
- (12) 館内での展示⑩
 - 開催日：2025年10月～12月
 - 内 容：企画展「コンテンツを読み解く」
 - 場 所：高槻キャンパス図書館
- (13) 館内での展示⑪
 - 開催日：2025年10月～12月
 - 内 容：企画展「WITH」
 - 場 所：ミューズ大学図書館
- (14) 館内での展示⑫
 - 開催日：2025年10月～12月
 - 内 容：企画展「知っておきたい心とからだ」
 - 場 所：堺キャンパス図書館
- (15) 館内での展示⑬
 - 開催日：2026年1月～3月
 - 内 容：企画展「AIの光と影」
 - 場 所：高槻キャンパス図書館
- (16) 館内での展示⑭
 - 開催日：2026年1月～3月
 - 内 容：企画展「昭和100年」
 - 場 所：ミューズ大学図書館
- (17) 館内での展示⑮
 - 開催日：2026年1月～3月
 - 内 容：企画展「健康な「身体づくり」はじめませんか」
 - 場 所：堺キャンパス図書館
- (18) 各種ガイダンス
 図書館利用者教育の一環として、各種ガイダンスを実施した。
 - 「入門ガイダンス」
 新入生のクラスを対象に図書館の基本的な利用方法と蔵書検索システム KOALA の使い方を説明。
 - 実施期間：春学期4月5日(土)～6月30日(月)
 - 秋学期9月22日(月)～11月29日(土)
 - 「活用ガイダンス」
 【基本編】では、学習や研究に不可欠な、情報検索の基本を解説。個別に【データベース編】を選択・追加し、カスタマイズすることも可能。
 - 実施期間：春学期4月5日(土)～6月30日(月)
 - 秋学期9月22日(月)～11月29日(土)
 - 「入庫ガイダンス」
 「書庫の利用方法」ビデオ視聴により、学部3年次以

上の学生に入庫資格を認める。

○図書館ミニ・ガイダンス

蔵書検索システム KOALA をはじめ、新聞、論文、雑誌記事、法情報などのデータベースから説明を受けたいデータベースを自由に選んで受講できる、1対1のオーダーメイド型ガイダンスを実施。春学期には「地下書庫見学ツアー」を2回実施。

- 実施期間：春学期5月～7月
- 秋学期10月～12月

7 規程・内規・要領の改正

- (1) 関西大学学術リポジトリ管理・運用規程の一部改正
 - 改正理由：
 - 1) 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が国から示されたことを受け、研究成果とその根拠データを即時公開すべく、関西大学学術リポジトリをその公開基盤として活用するため。
 - 改正箇所：第4条
 - 改正内容：登録対象に「研究データ」を追加する。
 - 改正施行期日：2026年4月1日
- (2) 図書館利用に関する取扱要領の一部改正
 - 改正理由：
 - 1) 吹田みらいキャンパス図書館の設置に関して実態に合わせて修正するため。
 - 2) 利用資格の追加が反映できていなかったため。
 - 改正箇所：別表第1、2、3
 - 改正内容：同上。
 - 改正施行期日：2026年1月1日施行、
 2025年4月1日から適用
- (3) 図書館等公衆送信サービスの利用に関する取扱要領の一部改正
 - 改正理由：
 - 1) 実態に合わせて修正するため
 - 改正箇所：第3条、第6条、第8条、第9条、第10条
 - 改正内容：同上。
 - 改正施行期日：2026年4月1日
- (4) 紛失・破損・汚損図書の前償処理要領の一部改正
 - 改正理由：
 - 1) 評価額1円及び0円の資料の前償金の算定方法について追記するため
 - 改正箇所：第5条
 - 改正内容：同上。
 - 改正施行期日：2026年4月1日

以上

電子ジャーナルパッケージ「ScienceDirect」の契約方式の変更について

藁 科 貴 敬

関西大学図書館では、Elsevier 社が提供する電子ジャーナルパッケージ「ScienceDirect」について、契約内容の見直しを行い、2025 年度より従来のパッケージ契約から Pay Per View（以下「PPV」という。）方式に変更した。PPV（Pay Per View）とは、電子ジャーナルをパッケージで一括購読するのではなく、必要な論文を利用の都度、論文単位で購入して提供する仕組みである。

本稿では、PPV 方式の導入経緯、運用方針の概要、アンケートの実施、導入初年度の利用実態について報告する。

1 導入経緯

2024 年度に図書費が増額されたが、増額の前提として、図書費ひっ迫の原因となっている電子資料の契約額高騰への対応が求められた。契約している大型電子ジャーナルパッケージのなかで、(ア)図書費の大きな割合を占めていること、(イ)PPV 方式に切り替えることで大きな支出削減を見込めること、(ウ)他大学での利用実績があること、などの条件の中で検討を重ねて、図書館として、2025 年度から、ScienceDirect を従来のパッケージ契約から PPV 方式とする方針を決定した。

2025 年度から PPV 方式に切り替えるにあたって、「大型パッケージの PPV 方式への変更検討のための専門部会」を設置し、(1)契約内容の変更点、(2)購読誌の選定ルール、(3)PPV 購入金額、(4)利用対象者、(5)PPV 方式導入後の予算執行方針を中心に整理を進めていった。

2 運用方針の概要

(1) 契約内容の変更点

2024 年度まではパッケージ契約であったが、2025 年度以降は「個別タイトル契約 + PPV 方式」に変更した。具体的には、パッケージ契約から、「個別タイトル契約（以下「購読誌」という。）1 タイトル + PPV」へと切り替え、購読契約外のタイトル（以下「非購読誌」という。）は PPV を使用して入手するかたちに変更した。

(2) 購読誌の選定ルール

今後の誌代の値上がり等を考慮して、タイトル契約誌数について、購読誌 1 タイトルで電子オンリー（冊子体としては購入しない）とすることにした。

(3) 購入金額

予算規模は、2024 年度のパッケージ契約金額の 60% に設定し、この金額を上限として、PPV を購入し運用することにした。

(4) 利用対象者

学部生、大学院生（PD 含む）、専任教職員、研究員とし、これら以外の資格（名誉教授や非常勤講師等）は利用不可とした。利用対象者は事前に ScienceDirect のアカウントを取得した上で、図書館に利用申請を行うことで PPV の利用が可能となる。

(5) PPV 方式導入後の予算執行方針

2025 年度中に未使用となった PPV 本数は、2025 年度中に 2026 年度の PPV 本数を追加購入することで、持越しが可能である。（PPV の有効期限は購入月から 18 か月となり、有効期限内に追加購入する場

合には残数分と合わせて追加購入分の有効期限まで持越しが可能となる。)

残数分を有効に活用するため、前年度の利用実績を踏まえて、一定数のPPVを購入していく。2026年度は2025年度前半の利用実績をもとに購入本数を決定した。

2024年度以前のパッケージ契約終了時から時間の経過に比例して、PPVを利用しなければ閲覧できない論文の比率が高まっていくため、PPVの利用が増加していく可能性がある。年度途中でPPVの不足が生じた場合は、電子ジャーナルパッケージ・データベースの予算内で可能な範囲で購入していくこととする。

3 アンケートの実施

2025年9月22日～10月24日にかけて、PPV導入後の利用実態を把握する目的で、Microsoft Formsを使用したアンケートを実施した。回答者数は106名(内訳 教員74名・大学院生26名・学部生6名)であった。アンケート実施前の8月末の時点で利用申請者は301名であったため、約3割の利用者に回答いただいたことになる。

利用方法に関して、PPV方式での閲覧がスムーズに行えたという回答が約6割あった一方、従来のパッケージ契約時と比較して手順が面倒である、閲覧方法が分かりにくいなどの意見があったため、これを受けて利用マニュアルの更新を行った。

この他に、正式発行前(Online FirstやArticles In Press)の論文がPPV方式になって閲覧できなくなったという意見があったが、当該の論文誌がPPV方式に対応していれば、正式発行前の状態であっても閲覧できるということが分かった。

自由記述の回答内容から、PPV方式で利用するための情報の周知に不十分な点があることが明らかになったので、担当者として図書委員会や大学のインフォメーションシステムのお知らせ等を通じて、分かりやすい情報を発信することの必要性を再確認した。

4 導入初年度の利用実態

Elsevier社が提供する毎月の利用状況報告書を基に、2025年4月～2026年2月(11か月)の利用実態について述べる。

累計の利用本数は4,995本であった。延べ利用者1人あたりの平均利用本数は約5.7本となる。また、PPVの累積登録者数(資格別内訳の合計)は410人であり、内訳は専任教員143人、大学院生164人、学部生100人、研究員3人であった。

月別の傾向としては、導入直後に一定の利用が発生した後、夏季休業期間中に一時的な減少が見られ、授業の再開に伴って再び増加するなど、導入前に他大学事例の傾向等を参考として想定していた内容と概ね同程度となった。

5 最後に

PPVの予算設定にあたっては、直近の利用実態を根拠として、年度内に必要となる金額を過不足なく見積もることが重要である。

また、PPVは未使用分を一定条件下で実質的に持越し可能な仕組みがあるため、年度末に残数が発生した場合でも、次年度の利用見込みや年度内の執行状況を踏まえて、残数を有効に活用するための対応を検討していかなければならない。

運用面では、案内ページや利用マニュアルの更新により、PPV利用に関する基本的な運用(申請・設定の手順、注意事項、問い合わせ対応の導線)は整備済みである。今後は、実際の利用状況や問い合わせ内容を継続的に確認し、利用者が迷いやすい点(申請手順や注意事項等)を見直すことで、利用者にとって分かりやすい利用環境を提供していく。

今後、PPV予算について「単年度の消化」を目的化せず、研究・教育上必要な論文提供を継続するための調整可能な予算枠として、適切に管理していくことに尽力していきたい。

(わらしな たかのり 図書館事務室)

総合図書館書庫資料再配置について

新谷 大二郎

本稿は、関西大学千里山キャンパスに位置する総合図書館で実施された書庫資料再配置作業について報告するものである。以下の項目に沿って詳述する。

和図書（0、4、5、6類）
洋図書（0、1、2、4、5、6、7類）
その他地下1階の図書全域

- 1 概要
- 2 目的
- 3 作業準備
- 4 作業実施
- 5 作業結果
- 6 今後の課題

2 目的

本作業は次の2点を主な目的として実施した。

- (1) 各資料群の中での別置を解消すること。
- (2) 配架調整の業務負担を軽減するため、各資料群に数年分の余剰スペースを配分すること。

3 作業準備

前項の目的を達成するため、以下の手順で作業の準備を行った。本作業は前述の新設書架設置及び資料移動作業からの一連の作業となるため、以下の手順はそちらの作業の対象となった資料も含めて行われたものと読み取ってもらいたい。

(1) 作業計画策定

再配置作業は新設書架の設置と既存書庫から新設書架への資料移動によるスペース創出を前提とするため、新設書架設置開始から全作業終了までの計画を事前に立案する必要があった。そのため、2020年度には計画を策定し、2021年2月には図書委員会報告を行った。当時は、2022年度前半までに書架設置を終え、2022年度もしくは2023年度中には作業を完了する計画としていた。しかし、新設書架を設置する予定であった部屋の一部で問題が生じ、その解消に2年を要したため、結果、作業完了が2025年度に至った。この間、新設書架設置にかかる予算措置について担当部局と調整を重ねる必要があり、部局間の認識の共有に難しさを感じるがあった。

1 概要

本作業は、総合図書館リニューアル計画の一環として行われた2021年8月から2022年3月にかけての新設書架設置及び資料移動作業に続いて実施された。新設書架設置及び資料移動作業では、新設書架に中国叢書の一部や利用頻度の低いと思われる古い参考図書類、その他資料群を移動することで、既存書庫内で約16年分、冊数にして266,960冊分の収容スペースが創出された。これについては拙稿「図書館リニューアル工事の実施について」（関西大学図書館フォーラム第27号、2022）を参照いただきたい。

本作業は、このスペースを用いて、既存書庫内の資料の再配置を行ったものである。作業対象冊数、期間、資料群については以下のとおりである。

- (1) 冊数：約80万冊
- (2) 期間：2024年10月～2025年7月
- (3) 作業対象資料群：
 - 書庫マイクロ資料の一部（新設書架に移動）
 - 廣瀬文庫、新生田文庫
 - 法令全書、判例タイムズ等
 - 製本雑誌（固定書架、電動書架配架分すべて）

(2) 移動対象資料の実測

当館では書架の面ごとにどういった資料が配架されているかを記した図面はあるが、それらが列・棚ごとに記録されているものは存在せず、具体的な資料移動計画を検討するにあたっては、対象となるすべての資料群の実際の使用スペース幅を実測する必要があった。2020年以前にも書庫狭隘化への対応を求めるにあたっての基礎資料とするために書庫内の使用スペース調査を行ったことがあり、その結果から増加した分のみを実測することも考えたが、当該調査の記録が正確に行われておらず、その後記録されていない資料の細かな移動もあったであろうことを考慮すると、過去の調査結果に基づいて使用スペースを算出しようとするには問題があると判断し、一から実測作業を行うこととした。

実測は、まず各資料群に割り当てられていたスペースから見込み使用スペース（a）を割り出し、さらにそのスペースの中での未使用スペース（b）を実測、aからbを差し引くことで使用中スペースを算出した。単位は棚数とし、対象の資料群を再配置するには何棚必要か、という測り方を行った。

実測要員には指示役として専任職員1名、作業要員として定時事務職員1～2名を設定し、のべにて3日程度で作業を実施した。

(3) 各資料群への配架スペースの割り当て

新規の配架資料が生じた場合に、対象となる資料群における配架調整を向こう数年は行わなくても配架できるようにするために、そのスペースを見込んだ上で、標記の割り当てを行った。

具体的には、資料群ごとの年間受入冊数を算出し、その数年～10年間分のスペースを(2)で実測したスペースに加算することで、当該資料群の再配置後の配架スペースとして割り当てることとした。

(4) 各資料群の再配置検討

(3)で得られた移動対象資料群の必要スペースから、実現可能な範囲での理想的な既存書庫内の各資料群の再配置場所を検討した。

当館では書庫は地下2階層となっており、原則、地下1階は図書、地下2階は製本雑誌とその他資料

を配架するものとしている。しかし、書庫狭隘により、すでに古くからそのゾーニングを保つことはできなくなっており、実際には、地下2階にも相当量の図書が配架されているという状態となっていた。さらに、例えば本来は地下1階に配架されるべき日本十進分類法でいう第2類の図書が地下2階の各所の壁面書架に別置して配架されているなど、同資料群の資料が書庫内に分散して置かれているといったことがままあり、掲示により実際のありかを案内するという形となっていた。

よって、理想では本来のゾーニングに合わせた形に再配置することが望まれたが、そこまでのスペースを創出することはできなかったため、今回の再配置ではとにかく第2項に示した目的を達成する方向で資料を移動させ、地下2階に降ろしてしまった図書を地下1階に戻すことは考えないこととした。むしろ、今回の作業の目的を達成するためには地下1階の図書の一部をさらに地下2階に移すことが必要であった。

結果、以下の方針で再配置を行うこととした。

ア 洋書の一部をさらに地下2階に移す。

イ 地下2階の製本雑誌について、電動書架に配架する対象を従前1980年以前のものであったところ、1990年以前のものとする。

ウ 地下2階の製本雑誌について、東西の電動書架に和と洋で分けて配架していたものを西にまとめる。

エ 各所に別置されていた図書・雑誌を本来あるべき資料群の中に戻す。

オ ア～エに加えて、各資料群に数年間の新規の配架が可能になるだけのスペースを割り当てる。

(5) 作業物品等の調達

詳細は作業実施の項で後述するが、再配置作業は当館が日常業務の遂行を委託している業務委託業者に、通常業務への追加という形で依頼することとなったため、作業期間中に使用するためのブックトラック、軍手等を一定量確保すること以外に、作業用の物品で特に調達したものはなかった。ただし、この作業に関連して、これまで別置していたマイクロ資料の一部を新設書架に移動する作業も発生したため、当該資料を収納するための中性紙のマイクロ保

存箱を大量に調達するということが生じた。

4 作業実施

上述のとおり、最終的には、作業は図書館の日常業務を委託している業務委託業者に業務委託内容の追加という形で依頼することになった。

作業対象は冊数にすると概算約80万冊で大規模作業となり、作業対象には通常の図書、製本雑誌など利用頻度の高い資料も多数含まれることから、当初は短期集中での作業が望ましかろうと考えた。そのため、配送業者等からも見積りを徴取したが、その結果は、期待していたほどには作業期間を短縮できるわけでもなく、金額としては到底許容できるものではないというものであった。

そこで、過去に別業者ではあるが図書館の業務委託業者に類似の業務を依頼した際の経験から、上記の仕方での作業を依頼した場合の見積りを図書館の業務委託業者より徴取したところ、配送業者等に依頼するよりも作業期間としては長期となるものの、金額的には圧倒的に有利な提案があった。さらに、この方法の場合、当館の資料の扱いに習熟した図書館スタッフの指導の下で作業員が業務に従事できることが期待された。また、図書館の想定漏れに起因した要因により期日までに作業が完遂できなかった場合にも、対応の融通が利くことも考えられたことから、業務委託業者による案を採用することとなった。結果としては、2024年度内に作業が終わらず、年度をまたぐこととなったことなど、臨時の業者では対処が難しかっただろう状況が生じたため、妥当な判断であったかと考えている。

実際の作業では、業務委託スタッフを日に若干名追加し、常駐スタッフの指導の下、ブックトラック等を用いて資料を移動していくこととした。これにより、利用請求の際には係員に声をかけるように掲示等で周知することで、作業期間中も利用制限は設けずに、資料の利用請求に対応することができた。

資料の移動は、3(4)の検討内容を踏まえて、①第2書庫新設書架への移動、②地下2階西(赤)電動書架内の移動(主として製本雑誌)、③地下2階東(青)電動書架内の移動(図書)、④地下1階固定書架内の移動(図書)の順で行った。

これら予定されていた作業を行った上で、さらに再調整が必要となる書架がないかを確認することとしていたが、再調整については、対応した方が望ましいことはあったものの、一部を除いては調整可能な範囲に収まるようなことはなかったため、上記の移動の終了をもって、一旦、再配置作業としては完了の扱いとした。

5 作業結果

各資料群の移動は概ね想定していたとおりに実施することができた。ただし、1点想定から大きく変更された点があった。それは、地下2階の製本雑誌の一部で固定書架から電動書架に移動しきれず、固定書架と電動書架における配架範囲が他の分類と異なる分類が生じてしまったことである。具体的には、本来は製本雑誌すべてについて電動書架に1990年以前分、固定書架に1991年以降分を再配置する計画であったところ、洋雑誌0類は電動書架に1980年以前分、固定書架に1981年以降分、洋雑誌1類は1990年以前分を電動書架に移したものの、1980年以前分と81年～90年分とで電動書架内の配架場所が飛び地となるという状況となった。

また、新刊が刊行されているにもかかわらずバックヤードに移動させた資料があり、それらの一部については、扱いを再考し、書庫に戻す予定としている。

移動の結果創出させた配架スペースとしては、2020年度計画当初は向こう10年は配架調整を必要としないようにすることを目標としていたものの、それから5年が経過していたため、結果としては、資料群によりまちまちではあるが、今後3～5年は配架調整に悩まなくてもよいような成果が得られることとなった。

利用者からの反応については、作業期間は長期に及んだものの、利用に制限は設けなかったこと、事前、最中の作業状況の周知について注意を払ったことが功を奏したのか、個々の資料の利用に関するクレームが生じたことはなかった。

しかし、今回新設した書架の一部に利用者が直接接架できない部屋に設置されたものがあり、そこに移動させた資料群に対して、元の書庫に戻すことを

求める要望があった。これについては、スペースの関係から、要望のとおり対応することは難しかったため、別の対応を講ずることとした。その対応の詳細については、ここでは差し控えさせていただきたい。

6 今後の課題

課題というよりは反省であるが、前項に記載した製本雑誌に生じた想定外の状況については、他に対応の余地はなかったのか疑問が残る結果となった。スペースの関係上、できることには限りがあるため、結果としては変わらなかったかもしれないが、業務委託業者からの事前の報告のあり方、それに対する図書館の受け止め方次第で、別の方向に進むこともありえたかもしれない。そう考えると、図書館に常駐する業務委託業者に依頼したという利点をさらに活かして、作業計画中に定期的な報告会を設定するなどといったことを、次回があれば検討した方がよいだろう。

今後の課題としては、バックヤードに移動した資料群への対応と、今後の書庫狭隘対策の検討が挙げられる。

前者については、そうした要望があることは想定しており、資料群次第では元に戻すことも視野に入れて再配置作業を検討していたものの、要望の範囲が想定範囲を超える場合には、やはりスペースの関係上対応のしようがない。よって、資料の移動を伴わない仕方に対応するしかないという状況は今後も変えようがないと思われる。その上で、どれだけ利用者の行動に即した運用が考えられるかということであろう。

後者については、これで図書館内に設置できるかぎりは書架を設置したことになり、加えて、当館においては外部倉庫等の貸借も含めて図書館の外部にさらなる書庫の設置を求めることはできず、書庫の自動書庫化も難しいことが確認されているため、いよいよ、スペースの増加ではなく、配架資料の減少の方へ舵を切らないといけないということになっている。

先述したとおり、今回創出したスペースを用いても、あと3~5年ほどすれば、また問題が喫緊のものとなってくることは明らかであるので、まずはそうした図書館の状況を学内に知ってもらうことから、今の内から始めていく必要があるだろう。

(しんたに だいじろう 図書館事務室)

図書館出版物案内

1 冊子目録等

- 細江文庫目録……450円 ※
わが国英語学界の重鎮、故細江逸記の旧蔵書目録。
- 大阪関係資料目録……650円
昭和35年1月1日現在所蔵の大阪府、市関係の図書・地図・近世文書・堂島文書・芝居番付・明治中期広告の総合目録。
- 生田文庫・穎原文庫目録……非売品 ※
在野の万葉集研究家故生田耕一の旧蔵書の一部と、故穎原退蔵旧蔵書の目録。
- 吉田文庫目録……1,300円 ※
元トルコ駐在特命全権大使であった故吉田伊三郎の旧蔵書目録。
- 岩崎美隆文庫・五弓雪窓文庫目録……1,500円 ※
江戸時代末期の国学者岩崎美隆の旧蔵書目録と、幕末の漢学者五弓雪窓の旧蔵書目録。
- 増田涉文庫目録……6,000円 ※
わが国魯迅研究の第一人者であった元文学部教授故増田涉の旧蔵書目録。魯迅の全著作の初版本他。
- 矢口文庫目録……2,700円 ※
本学の元学長で、イギリス経済史学界の重鎮であった故矢口孝次郎の旧蔵書目録。
- 極東国際軍事裁判資料目録……非売品 ※
極東国際軍事裁判における検察側及び弁護側提出の書証と関係資料の目録。
- 近世文書目録 ※
その一……1,350円、その二……2,000円
大阪周辺の庄屋文書を核に、ほぼ全国各地の近世文書を加えたコレクション。

- 大阪文芸資料目録……3,500円 ※
明治以降の、大阪にゆかりのある作家・画家・芸人などの作品や大阪を題材とした作品などの本学所蔵コレクションの目録。
- 内藤文庫漢籍古刊古鈔目録……2,500円 ※
内藤湖南・伯健父子旧蔵書の一部善本類の目録。
- 内藤文庫リスト No.1～No.5…非売品（ただし、No.1は品切）※
- 芝居番付目録……8,000円 ※
大阪を中心とする宝暦から昭和に至る歌舞伎、浄瑠璃等の芝居番付約6,500点の目録。
- 摂津国嶋上郡高浜村西田家文書目録……非売品
- 河内国丹北郡六反村谷川家文書目録……非売品
- 摂津国住吉郡中喜連村佐々木家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡豊田村小谷家文書目録……非売品
- 和泉国大鳥郡岩室村中林家文書目録……非売品

2 CD-ROM版

- 内藤文庫目録 KUL-bijou……非売品

3 図書館出版図書

- おおさか文藝書画展 図録……2,000円
平成6年9月、図書館創設80周年記念・文学部創設70周年記念として開催した「おおさか文藝書画展—近世から近代へ—」の図録

注 ※印は関西大学図書館ウェブサイトの文庫・コレクションにて目録を公開している。
(<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/search/collection>)

『関西大学図書館フォーラム』投稿要項

制定 平成 8 年 3 月 31 日

概要を次のように定める。

(1) 原稿執筆者の範囲

原則として、依頼記事・投稿記事いずれの場合も、本学の教育職員並びに本学図書館所属の職員を執筆者とする。

(2) 原稿の内容

次のいずれかで、執筆者自身の未発表原稿とする。

- ア 研究論文・研究ノート
- イ 図書館に関する調査・意見
- ウ 本学所蔵資料の紹介
- エ 図書館職員のレポート
- オ その他図書館に関する記事

(3) 掲載

予定の紙幅を超える寄稿があったときは、掲載する号を図書館長が決定する。

(4) 謝礼

依頼記事の執筆者（図書館職員は除く）には、若干の謝礼を贈呈する。ただし、抜刷は提供しない。

(5) 投稿先

関西大学図書館事務室（Tel 06-6368-1157）
電子メール（lib-ent@ml.kandai.jp）

(6) 執筆要領

- ア 本誌 1 ページにつき 2,070 字相当とする。
- イ 原稿は横書き、電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体での提出を原則とし、手書き原稿も可とする。
- ウ 電子メールまたは図書館が再生可能な電子媒体で提出する場合は、ブレインテキスト（txt）形式もしくはワープロ形式を原則とする。
- エ 本文中に図・表または写真を掲載する場合は、その相当分の字数を割愛する。
- オ 原稿は次の順に記載する。
 - ① 標題、② 執筆者名、③ 本文、④ 注記、⑤ 引用文献、⑥ 参考文献、⑦ 執筆者名の読みがな・職名
- カ 原稿の表記は、次に従うものとする。
 - ① 漢字は原則として常用漢字を用い、新かなづかいによる。書誌学的な理由などから、特に旧字体を使用する必要がある場合は、原稿用紙の右欄外にその旨を記す。また、欧文原稿を除き句読点は「。」「、」を用いる。
 - ② 数字は、引用文および漢語の一部として漢数字が習慣的となっている場合を除き、原則としてアラビア数字を用いる。
 - ③ 引用文献、参考文献の記載方法は、次のとおりとする。
 - a. 雑誌論文の場合
筆者名“論文標題”『雑誌名』巻（号）、年月、ページ

b. 図書の中の一部引用の場合

著者名“論文標題”『書名』（図書の著編者名）出版地、出版者、出版年、ページ

c. 図書の場合

著者名『書名』出版地、出版者、出版年

d. 欧文の場合は、著者名を転置形として、雑誌名または書名には『 』を付さずにアンダーラインで示す（印刷では、イタリック体活字になる）。

[例] Downs, Robert B. “How to start a library school.” *ALA Bulletin* 52(6), 1995. 6, pp. 32-48.

e. インターネット上の文献

著者名“文献標題”[参照年月日]（URL）

[例] 永沼博道“21世紀の大学図書館に向けて—伝統と現代化の相克”[参照 2003. 1. 20]

（URL）https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?action=common_download_main&upload_id=508

f. その他

a.～e. に記載方法を定めていない文献、書誌要素等については、科学技術情報流通技術基準（SIST: Standards for Information of Science and Technology）の参考文献の書き方（SIST02-2007）に準拠する。

キ 図・表は、図1、図2、表1、表2、fig. 1のように記す。図または表を電算等で出力したものをそのまま使用するとき、鮮明なものを用いる。写真は出来るかぎりモノクロームを用いる。図、表、写真には、その裏に執筆者名、標題、図1、図2、表1、表2のように番号を鉛筆書きのこと。

ク 校正は、初校を執筆者に依頼し、再校以降は図書館が行うことを原則にするが、必要のある場合は、再校以降についても執筆者の協力を得るものとする。

(7) 掲載された著作物の著作権

掲載された著作物の著作者は、当該著作物に関する複製及び公衆送信を関西大学図書館に対して許諾したものとみなす。関西大学図書館が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とする。

以上

2023年6月14日改正（この要項（改正）は、2024年刊行予定の第29号から適用する。）

編集後記

この度、図書館フォーラム第31号を刊行する運びとなりました。お忙しいなか原稿をお寄せくださった皆さま、編集にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

今号では、各種サービスの取り組み、電子ジャーナルパッケージ「ScienceDirect」の契約見直し、書庫資料再配置作業の報告など、多彩な内容を掲載しております。ご高覧いただき、日々の学修や研究にお役立ていただければ幸いです。

近年、生成 AI をはじめとする様々な情報技術の発展により、必要な情報に迅速にアクセスできる環境が整いつつあります。一方で、そうした情報がどのような資料や根拠に基づいているのかを適切に見極めることの重要性も、これまで以上に高まっております。特に、研究や学修の基盤となる一次資料は、情報の出発点としての信頼性や検証可能性を担保するものであり、その価値は今後さらに大きくなるものと考えられます。

図書館では、こうした一次資料をはじめとする多様な学術情報を収集・保存するとともに、それらに適切にアクセスできる環境を整備し続けています。情報があふれる時代であるからこそ、利用者の皆さまが確かな情報にたどり着き、自らの思考を深めていくための基盤としての役割を、より一層果たしていく必要があると認識しております。

引き続き、関西大学図書館をよろしくお願い申し上げます。

(高原)

図書館フォーラム編集担当

浦田 恵子・大上 良樹・高原 優佳・今村 航太郎

関西大学 図書館フォーラム 第31号 (2026)

2026年6月30日発行

編集・発行 関西大学図書館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL 06-6368-1157
<https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/>

制作 (株)遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL 06-6304-9325



Kansai University
Library Forum